

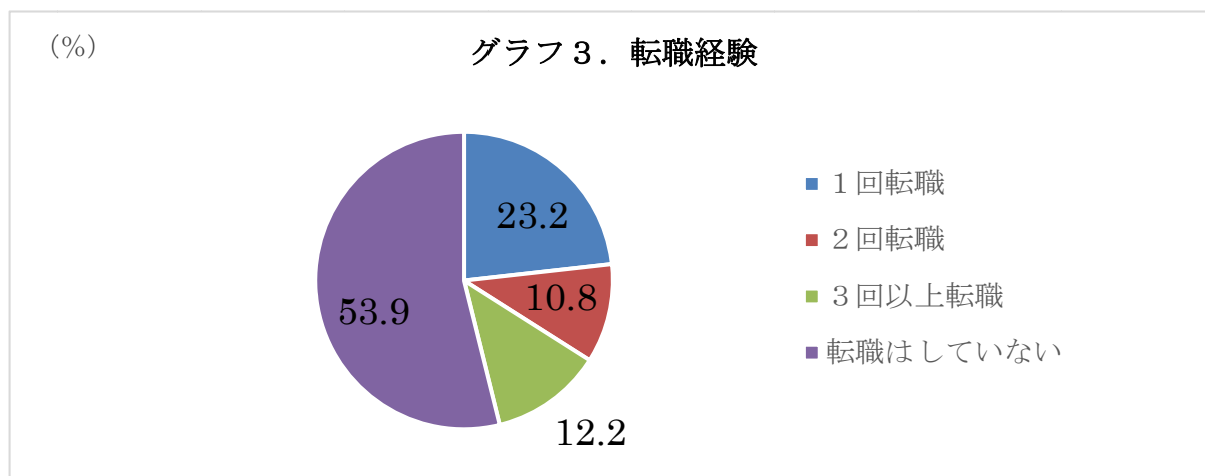
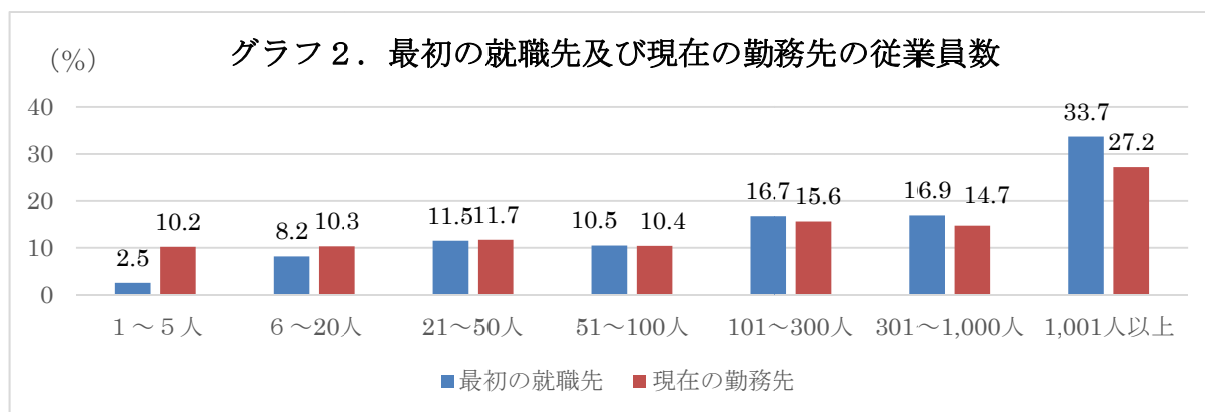
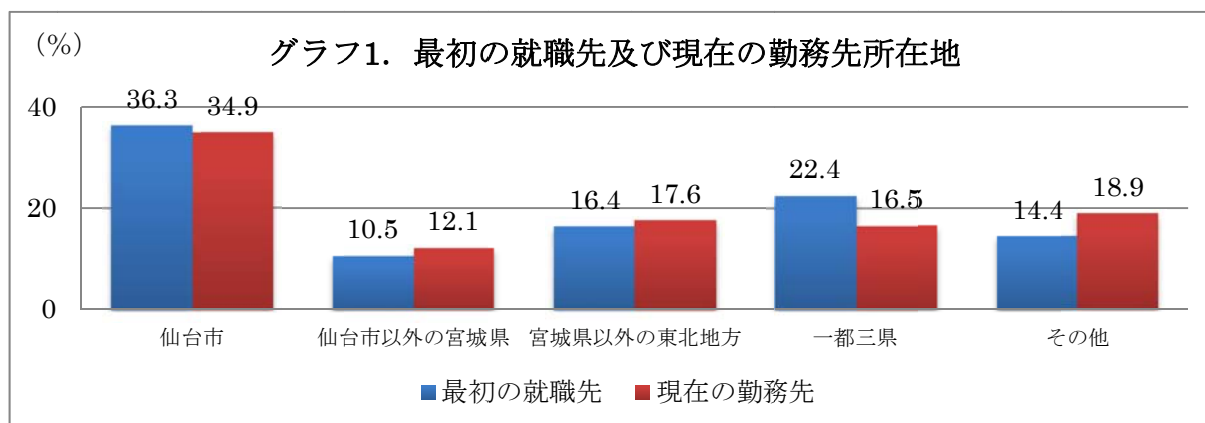
調査結果のポイント

<卒業後最初の就職時及び現在の勤務先について>

● 卒業後最初の就職先・現在の勤務先にかかる所在地、従業員規模、転職回数

最初の就職先が仙台市を含む宮城県内だった人は 46.8%であり、現在の勤務先が仙台市を含む宮城県内である人は 47%とほぼ同じ割合となっている。

また、転職や起業を経て、従業員規模の多い企業から少ない企業へ移動していることが見てとれる。なお、転職は 46.1%が経験しており、3 回以上の転職者も 12.2%存在している。



※各グラフの各項目は小数点第二位で四捨五入しているため、合計が 100%を越える場合がある。

<卒業後最初の就職時から見たポイント>

● 就職時に重視した項目

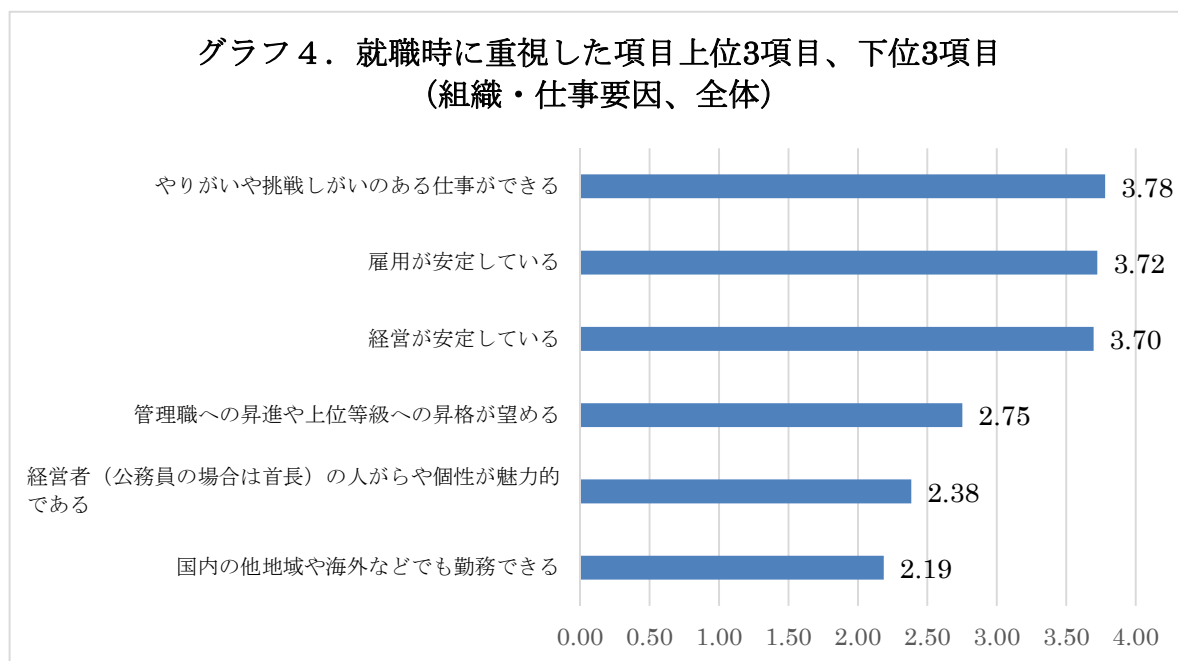
回答者全体として、組織・仕事要因の上位3項目を見ると、やりがいや挑戦しがいのある仕事かどうか、雇用や経営が安定しているかどうかについて重視度が高い一方で、下位3項目を見ると、国内・海外への転勤、昇進・昇格といったキャリアアップ要因、経営者の魅力については重視度が低い。

また、居住地要因の上位3項目は、交通の便利さ、買い物の便利さ、医療機関等の充実といった生活の利便性を重視している。一方、下位3項目は、自治体の子育て支援策や税金の安さ、近隣住民との交流となっており、最初の就職時においては、これらの重視度は低い。

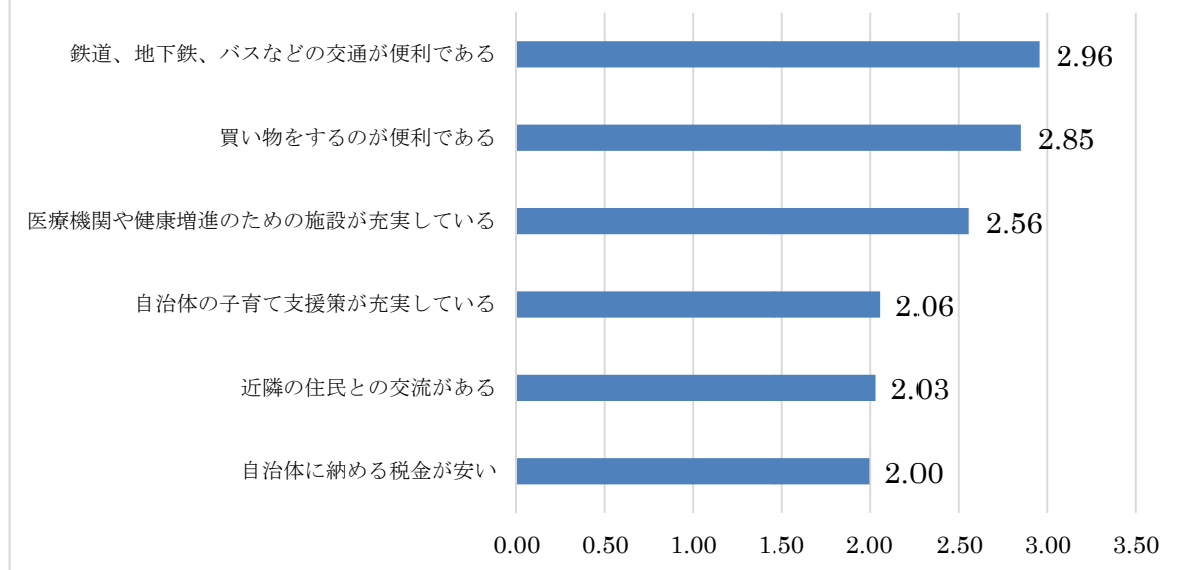
なお、20歳代が就職時に重視するのは、WLBの充実と経営・雇用の安定性、そして、生活の利便性となっている。特に、全世代平均と比べて、福利厚生 of 充実、職場の人間関係、長期休暇の取得、長時間労働の少なさ等のWLBの充実に関する項目を重視している傾向が見られる。

※グラフの数字について

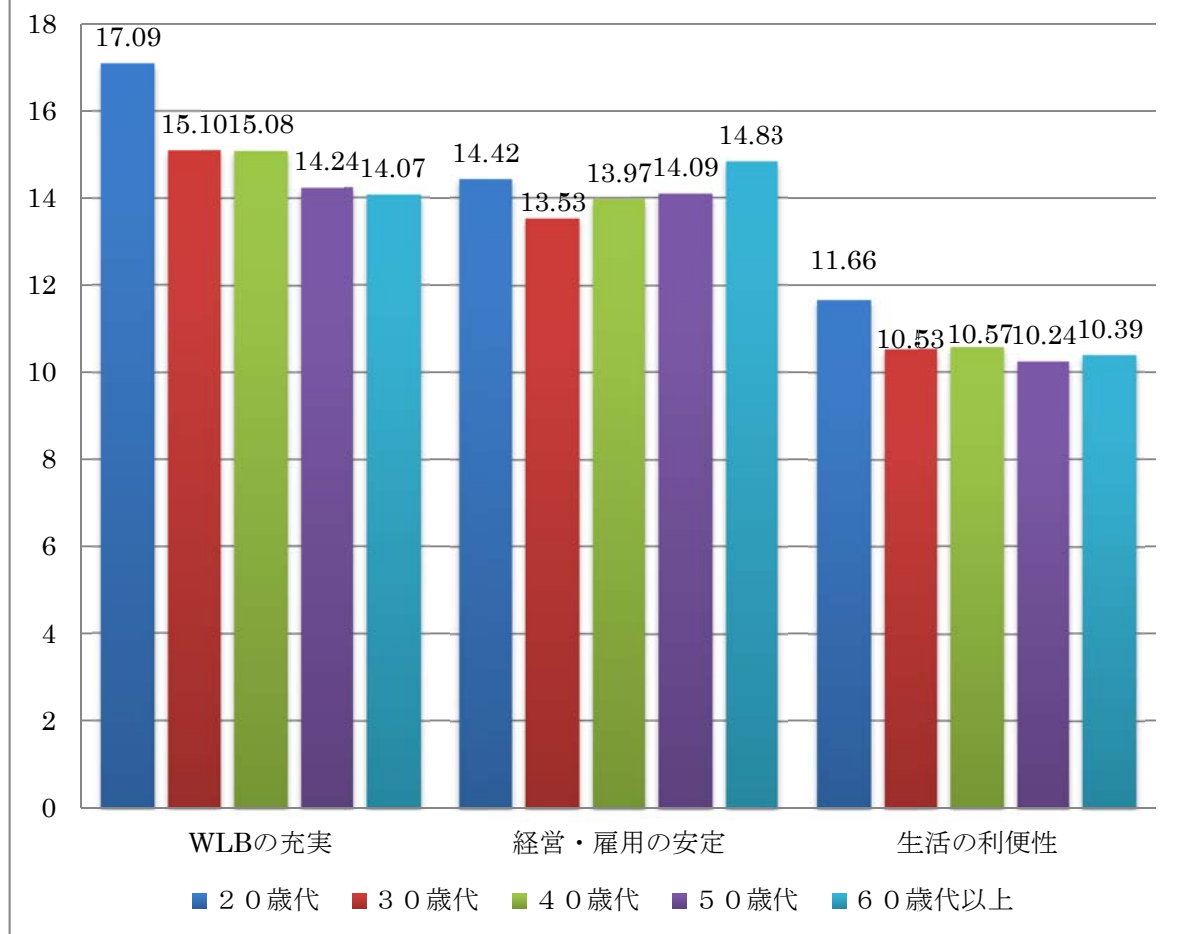
グラフ4・5は、各項目の「まったく重視しなかった：1点、あまり重視しなかった：2点、どちらともいえない：3点、やや重視した：4点、とても重視した：5点」の回答の平均点を得点化した。また、グラフ6は、関連する項目の回答を合計し、得点化した。



グラフ5. 就職時に重視した項目上位3項目、下位3項目
(居住地要因、全体)



グラフ6. 年代別就職時に重視した項目
(WLB、経営・雇用、生活の利便性)

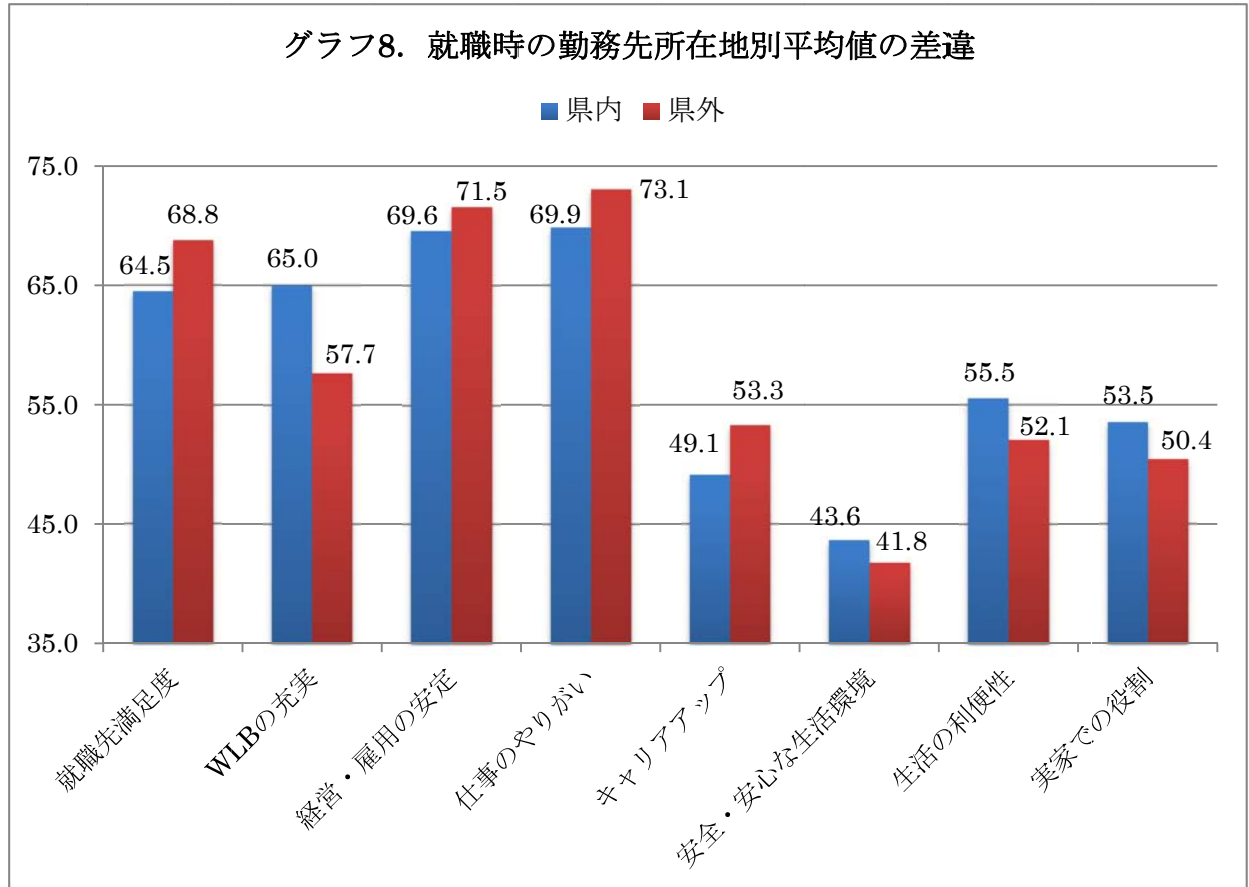




※グラフ7は、各項目の「まったく重視しなかった：1点、あまり重視しなかった：2点、どちらともいえない：3点、やや重視した：4点、とても重視した：5点」の回答の平均点を得点化した。

● 就職地別（宮城県内、県外）から見られる傾向

最初の就職地別で重視する項目で比較すると、宮城県内に就職した人は、WLBや生活の利便性、そして、実家での役割を重視していることが分かる。一方、県外に就職した人は、仕事のやりがいやキャリアアップを重視する傾向があることが見てとれる。

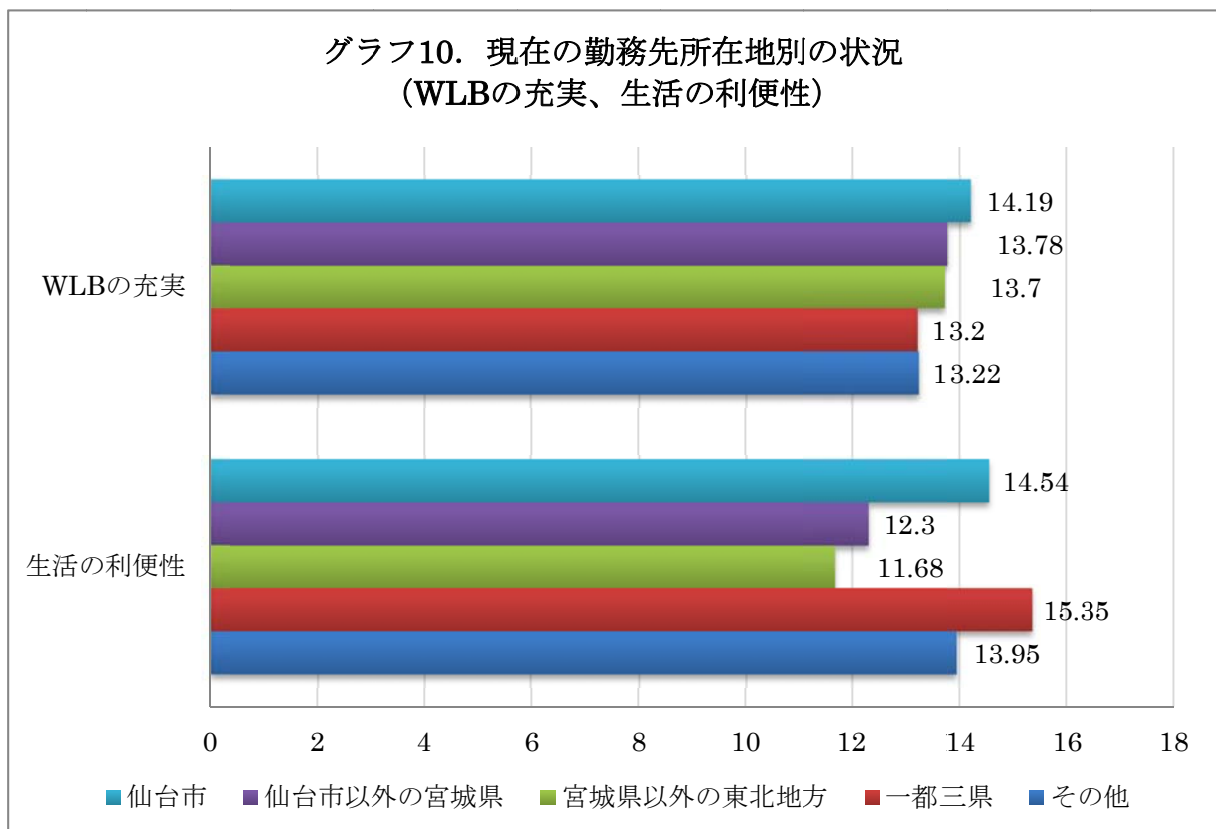
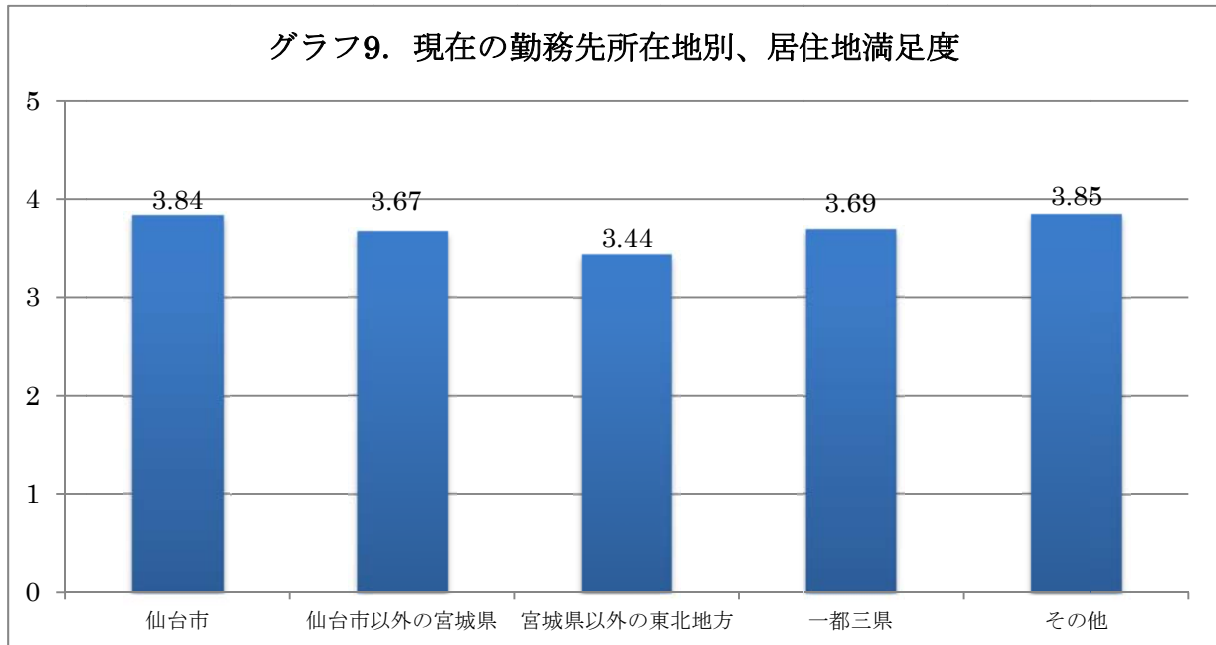


※ グラフ8は、各項目の差を分かりやすくするため、関連する項目の回答を合計した最大値を100点とし表記した。また、このグラフの元となるデータは、P30「表2. 就職地による平均値の差違」であるが、表に記載されている数値が四捨五入された数値であるため、必ずしもこのグラフと表の数値は一致しない。

<現在の勤務先からみたポイント>

● 勤務先所在地別のWLBと居住地満足度（有効回答数 2,592 件）

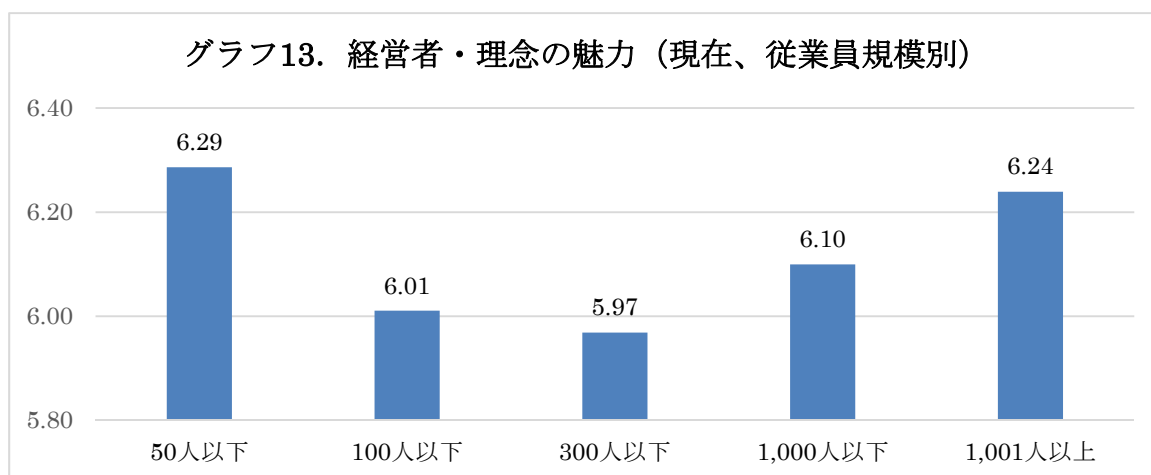
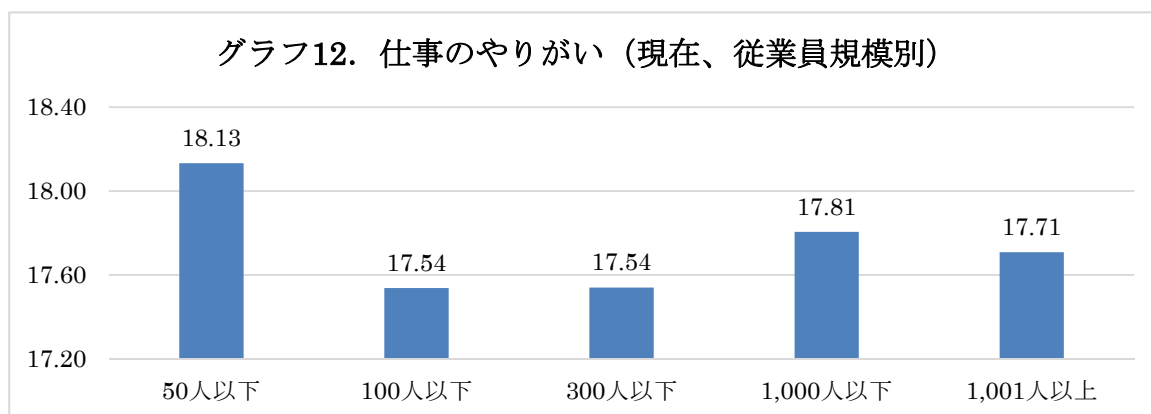
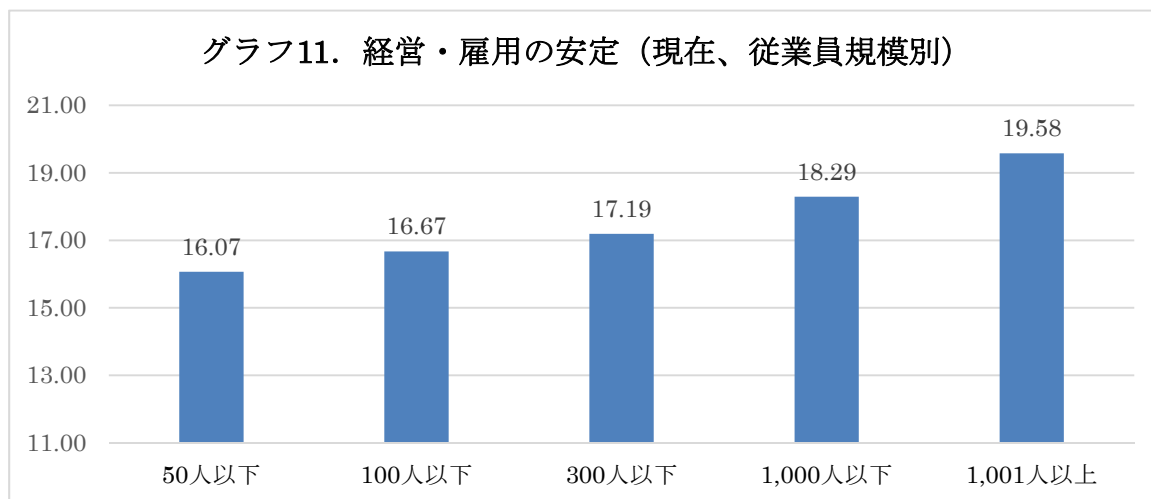
勤務先が仙台市である人の居住地満足度は高い。これはWLBの充実や生活の利便性が高いことが関連していると考えられる。



グラフ10は、関連する項目の回答を合計し、得点化した。詳しくは、データ編 P35 を参照。

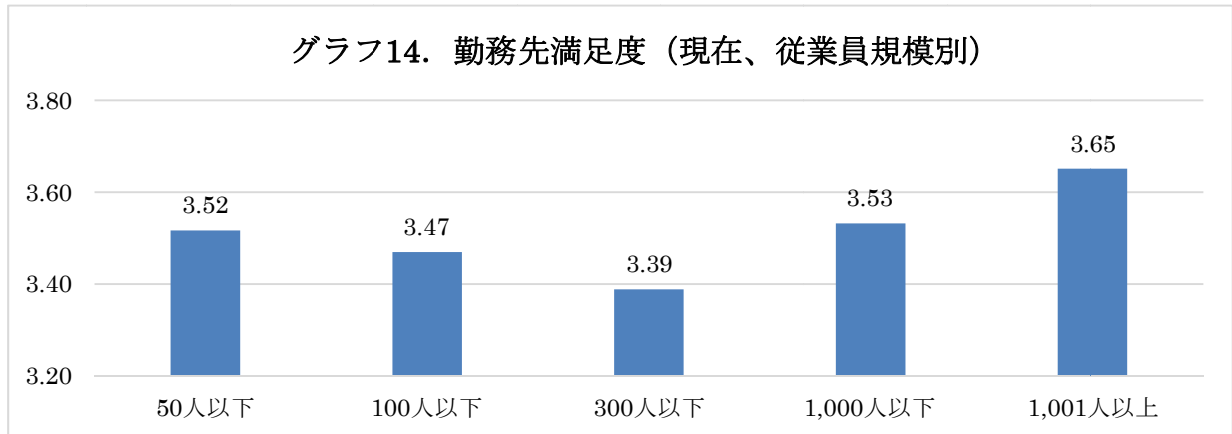
● 勤務先規模別で見たときの安定、やりがい、経営者・理念の魅力

従業員規模 50 人以下の勤務先は、経営・雇用の安定は低いと感じているものの、仕事のやりがい、経営者・理念の魅力は高い。これは、規模が小さいことにより事業の全体像が把握しやすく、また、経営者との距離が近いためと考えられる。



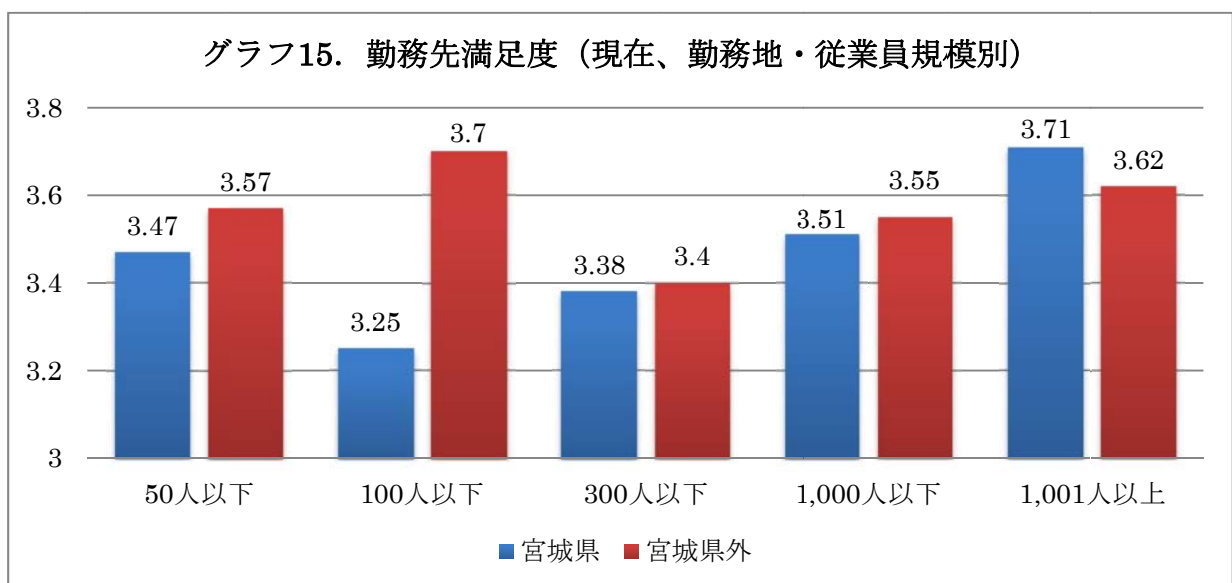
● 勤務先規模別で見たときの満足度

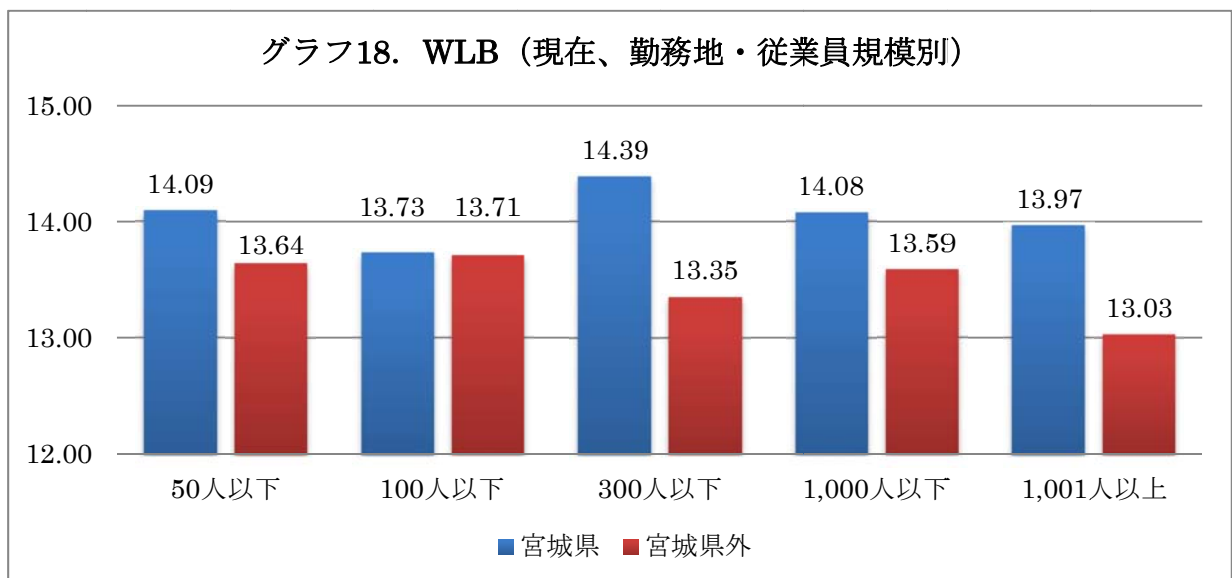
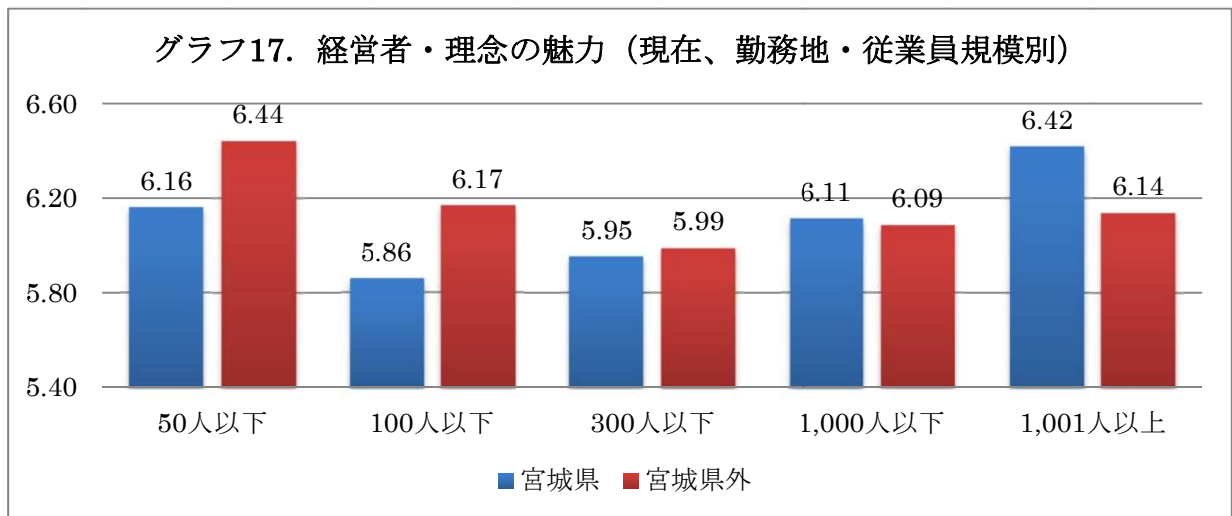
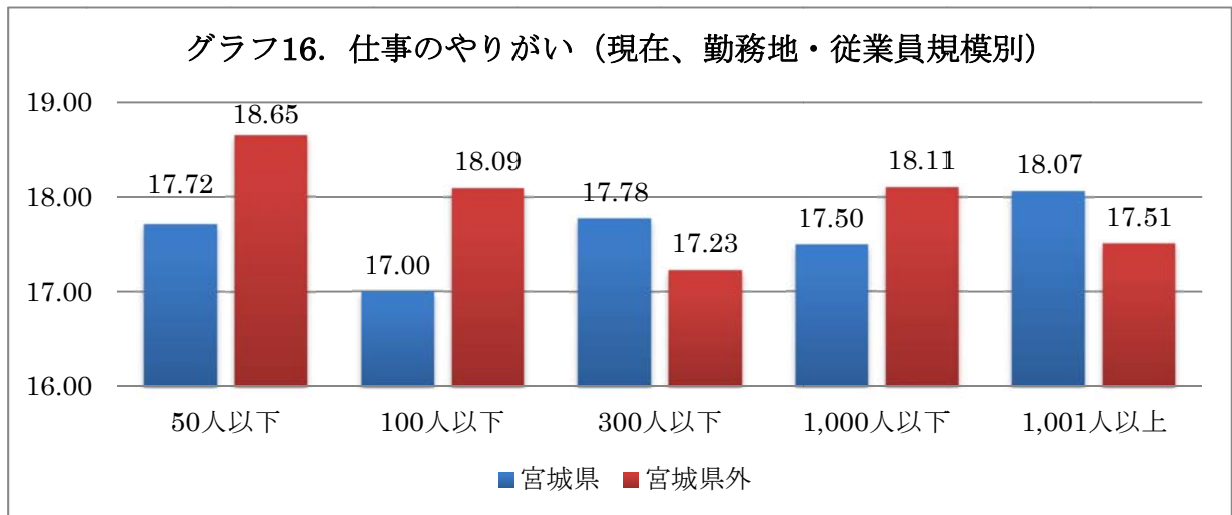
勤務満足度が最も高いのは、1,001人以上の大規模企業である。その次は、従業員301人以上1,000人以下の比較的規模の大きな企業、そして、ほぼ変わらず50人以下の中小、小規模企業での満足度が高い。これは、規模の大きさに代表される経営や雇用の安定を重視している群と、仕事のやりがいや経営者や理念の魅力を重視する群に分かれているからと考えられる。



● 県内と県外、勤務先規模別で見たときの満足度等

従業員規模50人以下の勤務満足度は、宮城県内と県外で分けて見た場合でも高いが、その満足度は宮城県外の企業と比べると低くなっている。これは、宮城県外の企業と比べて、仕事のやりがい、経営者・理念の魅力が低いことが要因と考えられる。一方で、県外の従業員規模1,001人以上と比べて仕事のやりがいや経営者・理念の魅力は高くなっている。WLBの充実という観点では、全ての規模において、宮城県外の企業と比べて高い。



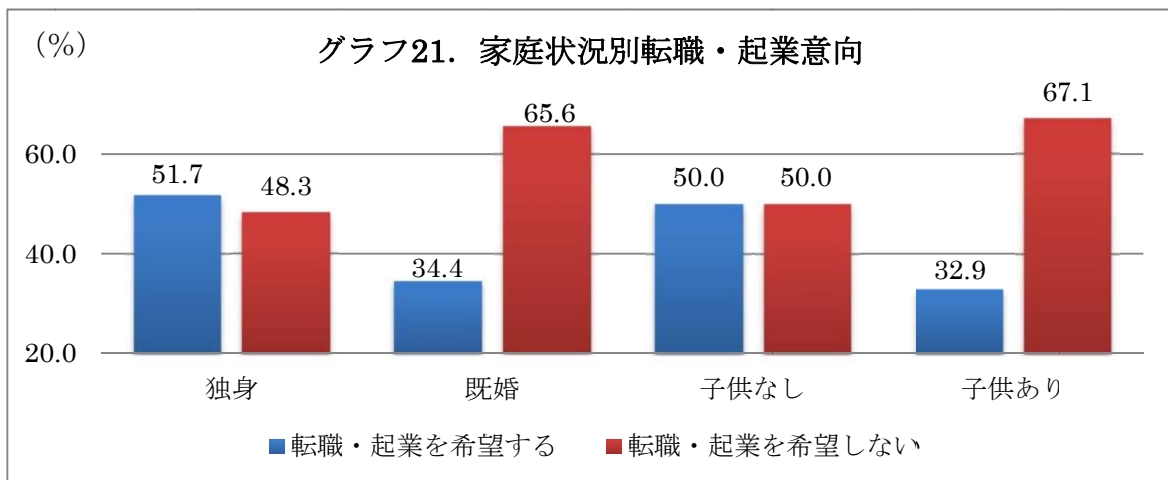
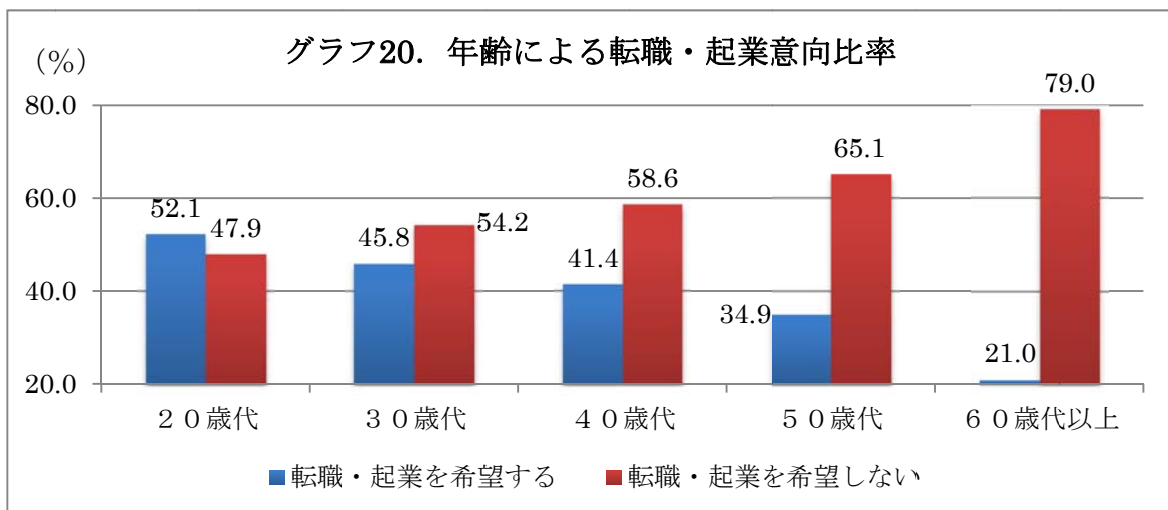
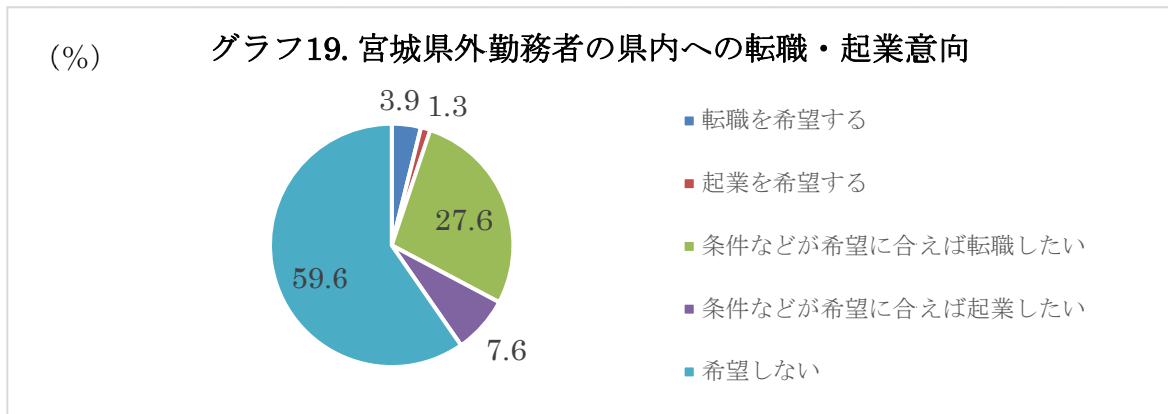


<転職及び起業のポイント>

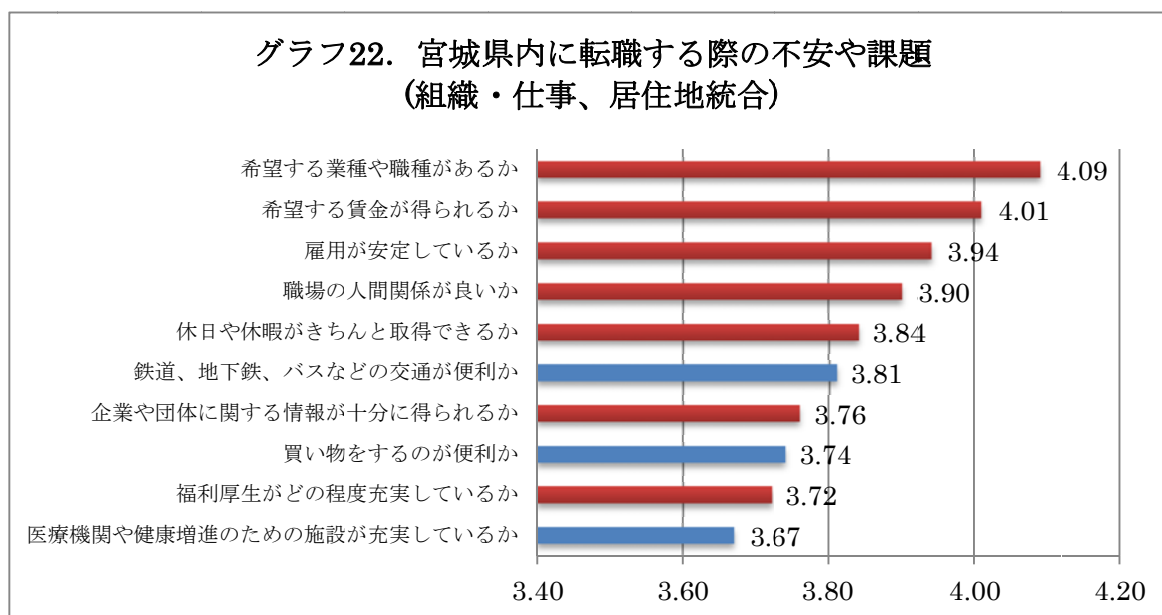
● 宮城県内への転職意向について（有効回答数 1,420 件）

宮城県内への転職・起業を希望する人は、県外勤務者全体の約 40%である。また、希望者は年齢別で 20 歳代、家庭状況別で独身や子供なしの割合が高い。

転職をする場合の不安や課題として、求人や勤務先に関する要因が上位を占める。一方、その他では、生活の利便性に関する要因が多く見られている。



※ グラフ 20・21 は、傾向を分かりやすくするため、各属性の合計を 100%とした場合の転職・起業意向の有無の割合を記載している。そのため、P37 の表 8-1 から 8-3 との数値は一致しない。



※ 赤は求人や勤務先に対する要因、青は生活の利便性に対する要因。

● 転職経験者の転職の傾向（転職経験者 1,244 件）

転職経験者は、転職後の勤務先として、最初の就職先の所在地と同じ場所を選ぶ傾向があるが、最初の就職先が仙台市以外の宮城県、また、一都三県だった群は、仙台市に流入してくる割合が高い。従業員規模で見た転職前後の傾向では、1,001 人以上の群以外は、全て 50 人以下の企業への転職の割合が最も高い。（1,001 人以上の群でも 50 人以下に移る人の割合は 2 番目と高い）

集計表 1. 最初の就職先の所在地と現在の勤務先の所在地のクロス集計

		現在の勤務先の所在地					退職・無職	合計
		宮城県 仙台市	仙台市以外の 宮城県	宮城県以外の 東北地方	一都三県	その他		
最初の 就職先 の 所在地	宮城県仙台 市	度数 262 %	74 15.2%	48 9.8%	52 10.7%	34 7.0%	18 3.7%	488 100.0%
	仙台市以外 の宮城県	44 41.5%	47 44.3%	4 3.8%	5 4.7%	2 1.9%	4 3.8%	106 100.0%
	宮城県以外 の東北地方	28 15.4%	8 4.4%	119 65.4%	15 8.2%	4 2.2%	8 4.4%	182 100.0%
	一都三県	98 31.2%	22 7.0%	32 10.2%	111 35.4%	40 12.7%	11 3.5%	314 100.0%
	その他	18 11.7%	5 3.2%	8 5.2%	21 13.6%	95 61.7%	7 4.5%	154 100.0%
	合計	450 36.2%	156 12.5%	211 17.0%	204 16.4%	175 14.1%	48 3.9%	1,244 100.0%

集計表 2. 最初の就職先従業員規模と現在の勤務先従業員規模のクロス集計

		現在の勤務先規模					合計
		50人以下	100人以下	300人以下	1,000人以下	1,001人以上	
最初の 就職先 規模	50人以下	度数 177 %	33 10.4%	42 13.2%	29 9.1%	36 11.4%	317 100.0%
	100人以下	56 36.4%	34 22.1%	21 13.6%	18 11.7%	25 16.2%	154 100.0%
	300人以下	79 34.6%	23 10.1%	55 24.1%	30 13.2%	41 18.0%	228 100.0%
	1,000人 以下	77 39.9%	17 8.8%	30 15.5%	38 19.7%	31 16.1%	193 100.0%
	1,001人 以上	99 28.1%	30 8.5%	49 13.9%	48 13.6%	126 35.8%	352 100.0%
合計	488 39.2%	137 11.0%	197 15.8%	163 13.1%	259 20.8%	1,244 100.0%	

● 転職経験者と未経験者との違い

転職経験者の割合は、最初の就職先所在地が仙台市や一都三県の場合、また、従業員規模が50人以下、100人以下、300人以下規模の企業で全体割合（46.1%）より多い。同様に現在の勤務先も、50人以下、100人以下、300人以下規模の企業で転職者が多い傾向が見られる。

また、転職経験別で見ると、転職経験者は、経営や雇用の安定よりも仕事のやりがいやWLBを重視しており、また、居住地満足度が高いことがうかがえる。

集計表 3. 転職経験の有無と最初の就職先所在地のクロス集計

		最初の就職先の所在地				
		宮城県 仙台市	仙台市以外 の宮城県	宮城県以外 の東北地方	一都三県	その他
転職 経験 区分	転職経験 あり 度数 %	488 49.9%	106 37.3%	182 41.2%	314 52.2%	154 39.8%
	転職経験 なし 度数 %	489 50.1%	178 62.7%	260 58.8%	288 47.8%	233 60.2%
合計 度数 %		977 36.3%	284 10.5%	442 16.4%	602 22.4%	387 14.4%

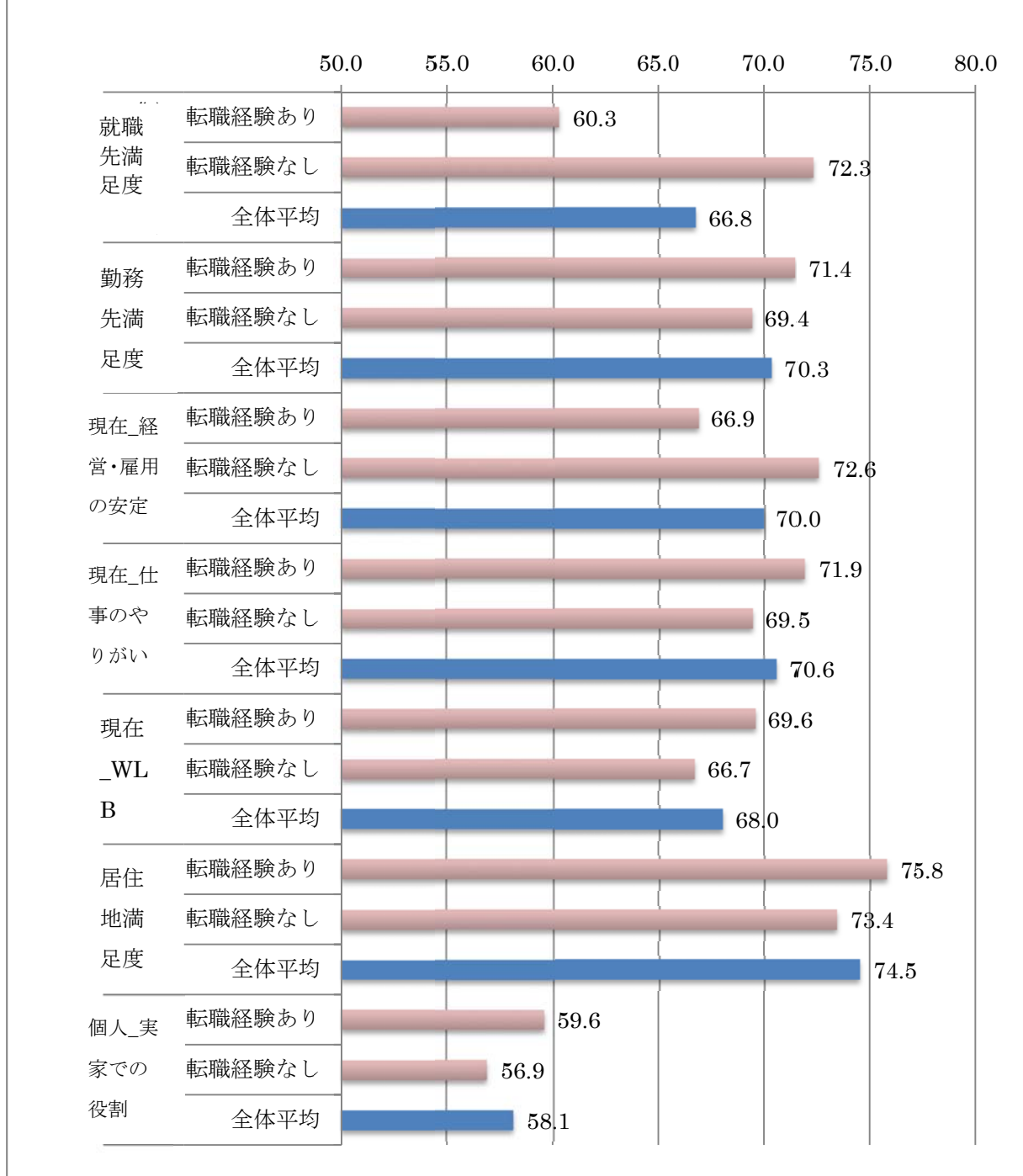
集計表 4. 転職経験の有無と最初の就職先規模のクロス集計

		就職先規模				
		50人以下	100人以下	300人以下	1,000人 以下	1,001人 以上
転職 経験 区分	転職経験 あり 度数 %	317 53.0%	154 54.6%	228 50.7%	193 42.4%	352 38.8%
	転職経験 なし 度数 %	281 47.0%	128 45.4%	222 49.3%	262 57.6%	555 61.2%
合計 度数 %		598 22.2%	282 10.5%	450 16.7%	455 16.9%	907 33.7%

集計表 5. 転職経験の有無と現在の勤務先規模のクロス集計

		現在の勤務先規模				
		50人以下	100人以下	300人以下	1,000人 以下	1,001人 以上
転職 経験 区分	転職経験 あり 度数 %	488 56.4%	137 49.1%	197 46.9%	163 41.2%	259 35.4%
	転職経験 なし 度数 %	378 43.6%	142 50.9%	223 53.1%	233 58.8%	472 64.6%
合計 度数 %		866 32.2%	279 10.4%	420 15.6%	396 14.7%	731 27.2%

グラフ23. 転職経験別による平均値の差違
(就職先満足度、勤務先満足度、現在の勤務先や居住地の状況)



※ グラフ 20 は、各項目の差を分かりやすくするため、関連する項目の回答を合計した最大値を 100 点とし表記した。

提言：調査結果から考える、地域への人材定着に向けたアプローチのあり方

<若者向け：企業の魅力の発信の仕方を変える（経営者の魅力から、働きやすさへ）>

(1) やりがいや挑戦しがいのある仕事、そして、社会的に意義があることを伝える

地域企業は、若者が重視している「雇用や経営の安定」を伝えることは難しいため、「やりがいや挑戦しがいのある仕事」を伝える情報発信が求められる。しかし、これまでは、やりがいのある仕事であることを伝えるため、昇進や昇格といったキャリアアップや、経営者の魅力を伝えることが一般的だったが、若者はそれらの項目を重視していないため、逆効果になっていると推測される。そのため、より直接的に、仕事の社会的意義ややりがい・挑戦しがいを中心とした情報発信を行うことが求められる。

(2) 職場の魅力（ワークライフバランス）が優れていることを伝える

20歳代は、福利厚生充実、職場の人間関係、長期休暇の取得、長時間労働の少なさ等、ワークライフバランスに関する項目を他の世代よりも重視している。すでにWLBに取り組んでいる企業は、積極的にその取組みをより多くの若者に伝えることが、効果的であると考えられる。

(3) インターンや産学連携など、企業の魅力を直に感じる仕組みをつくる

上記2点を情報発信で伝えることも重要だが、求職者が地域企業に直に触れることによって、より納得して志望することが想定される。最近では、大手企業を中心に、仕事の魅力や働きやすさを伝える短期のインターンシップを行っており、地域企業においても自社の魅力を経験することができる機会作りに向けた取り組みの推進が求められる。

<転職者向け：やりがいと地域の魅力を総合的に伝える（都落ちから、選択的移住へ）>

(4) 仕事のやりがいや経営者をクローズアップした取り組みを行う

転職先で多いのは50人以下の企業であり、小さい組織ならではの、仕事のやりがいや経営者・理念の魅力が高いことを生かした、情報発信やマッチングの機会がより一層求められる。これら50人以下の企業の一部は、ベンチャー企業や第二創業期である可能性が高く、いわゆる労働者ではなく、中核的人材の採用を求めている。よって、ハローワーク型の就職マッチングとは別に、求職者が挑戦しがいのある仕事であることを伝える機会の提供を行うことも効果的であると考えられる。

(5) 仙台市での生活の利便性が実感できるような取り組みを行う

仙台の高い居住地満足度を生かした、生活がしやすいと感じられる取り組みを行うことも効果的である。具体的には、生活情報の発信はもちろん、他の自治体でも取り組んでいる、首都圏での潜在的移住希望者との座談会や「お試し移住」などを、採用予定企業と連携して継続的に行い、いつかは仙台で活躍したい！と考える人材とのネットワークを作り、将来的な移住につなげることなどが考えられる。

<企業向け：働きやすい職場をつくり、やりがいを再発見する（働き方改革の推進）>

(6) 中小企業の働き方改革を支援する

小規模事業者であるため、働き方改革を推進できないと思い込んでいる企業の直接的な支援に取り組むことも求められる。そのことにより、職場環境が改善されることで、退職者を防止するだけでなく、より多くの求職希望者を集めることにつながる。また、より多くの企業が、働き方改革を前向きに取り組むことができるよう表彰制度などインセンティブのある仕組みづくりも重要である。

<データ編>

県内大学卒業者の就業の現状と意識に関する調査（最終集計）

【閲覧にあたっての留意点】

- 本報告は、2015/12/27～2016/5/22 に回答のあった 2,702 件のうち、不完全回答等の 10 件を除いた 2,692 件について最終集計した結果である。
- 定年退職や失業等により現在勤務していない回答が 100 件あったため、C 領域については、それらの回答を除いた 2,592 件について集計している。
- 特に記載が無い場合、各項目に記載されている数値は、それ以下の数値を四捨五入している。
- D 領域については、宮城県内勤務者を除いた 1,420 件を分母として集計し、さらに問 26～29 については、問 25 で転職・起業を希望しない人を除いた 573 件を分母として集計している。

I. 単純集計結果

A. まず、あなた自身のことについてお聞きします。次の各項目について、最もあてはまるもの1つをお答えください。

問1. あなたの性別をお答えください。

1. 男性 **69.6%** 2. 女性 **30.4%**

問2. あなたの年齢をお答えください。

1. 10歳代 **0%** 2. 20歳代 **24.9%** 3. 30歳代 **20.6%**
 4. 40歳代 **20.8%** 5. 50歳代 **22.0%** 6. 60歳代以上 **11.8%**

問3. あなたの婚姻状況をお答えください。

1. 独身 **40.0%** 2. 既婚 **60.0%**

問4. あなたの家族状況をお答えください。

1. 子供なし **48.4%** 2. 子供あり **51.6%**

問5. あなたの出身地をお答えください。

1. 宮城県仙台市 **30.1%**
 2. 仙台市以外の宮城県 **24.0%**
 3. 宮城県以外の東北地方（青森・岩手・秋田・山形・福島） **27.0%**
 4. 一都三県（東京・埼玉・千葉・神奈川） **3.5%**
 5. その他（北海道 **3.2%**、茨城県 **1.6%**、新潟県 **1.5%**等） **15.4%**

問6. あなたが最後に卒業した学校の所在地をお答えください。

- | | |
|--------------------------------------|-------|
| 1. 宮城県仙台市 | 78.0% |
| 2. 仙台市以外の宮城県 | 18.7% |
| 3. 宮城県以外の東北地方（青森・岩手・秋田・山形・福島） | 1.0% |
| 4. 一都三県（東京・埼玉・千葉・神奈川） | 1.0% |
| 5. その他（アメリカ 0.2%、京都府 0.1%、北海道 0.1%等） | 1.3% |

問7. あなたが最後に卒業した学校名（大学院も含む）をお答えください。

- | | |
|--|-------|
| 1. 【国公立大学】東北大学（旧東北大学医療技術短期大学部を含む） | 9.6% |
| 2. 【国公立大学】宮城教育大学 | 0.4% |
| 3. 【国公立大学】宮城大学（旧宮城県農業短期大学を含む） | 0.9% |
| 4. 【私立大学】石巻専修大学 | 0.1% |
| 5. 【私立大学】尚綱学院大学（旧尚綱女学院短期大学を含む） | 0.1% |
| 6. 【私立大学】仙台大学 | 6.7% |
| 7. 【私立大学】仙台白百合女子大学（旧仙台白百合短期大学を含む） | 0.9% |
| 8. 【私立大学】東北学院大学 | 69.6% |
| 9. 【私立大学】東北工業大学 | 4.5% |
| 10. 【私立大学】東北生活文化大学（旧三島学園女子大学を含む） | 0.7% |
| 11. 【私立大学】東北福祉大学（旧東北福祉短期大学を含む） | 0.2% |
| 13. 【私立大学】東北薬科大学 | 0.1% |
| 14. 【私立大学】宮城学院女子大学（旧宮城学院女子短期大学を含む） | 1.3% |
| 15. 【私立大学】聖和学園短期大学 | 1.2% |
| 17. 【私立大学】東北生活文化大学短期大学部（旧三島学園女子短期大学を含む） | 0.5% |
| 19. 【高等専門学校】仙台高等専門学校 | 0.5% |
| 20. その他（筑波大学 0.1%、東海大学 0.1%、岩手大学大学院 0.1%等） | 2.8% |

問8. あなたが最後に卒業した学校での学部・学科・専攻について、最も近いものをお答えください。

- | | | | |
|-------------------|-------|----------------|-------|
| 1. 文学・教育学系 | 18.6% | 2. 法学・政治学系 | 9.6% |
| 3. 社会学系 | 1.9% | 4. 経済学・経営学・商学系 | 27.5% |
| 5. 語学・国際関係学系 | 2.3% | 6. 農・林・水産学系 | 0.9% |
| 7. 理学系 | 1.8% | 8. 工学・情報学系 | 24.6% |
| 9. 医学・歯学・薬学系 | 0.9% | 10. 看護学・福祉学系 | 1.4% |
| 11. 家政学・生活科学系 | 1.8% | 12. 芸術学系 | 0.5% |
| 13. 保育学系 | 1.0% | 14. 体育学系 | 6.4% |
| 15. その他（神学 0.1%等） | 0.7% | | |

問9. 最後の学校を卒業して最初の就職先の所在地をお答えください。

- | | |
|-------------------------------------|-------|
| 1. 宮城県仙台市 | 36.3% |
| 2. 仙台市以外の宮城県 | 10.5% |
| 3. 宮城県以外の東北地方（青森・岩手・秋田・山形・福島） | 16.4% |
| 4. 一都三県（東京・埼玉・千葉・神奈川） | 22.4% |
| 5. その他（大阪府 3.1%、北海道 1.9%、茨城県 1.4%等） | 14.4% |

問 10. 最初の就職先の従業員数をお答えください。

- | | | | | | |
|-------------|-------|-------------|-------|---------------|-------|
| 1. 1～5人 | 2.5% | 2. 6～20人 | 8.2% | 3. 21～50人 | 11.5% |
| 4. 51～100人 | 10.5% | 5. 101～300人 | 16.7% | 6. 301～1,000人 | 16.9% |
| 7. 1,001人以上 | 33.7% | | | | |

問 11. 最初の就職先の業種をお答えください。

- | | | | |
|---------------------|------|-----------------|-------|
| 1. 農業、林業、漁業 | 0.4% | 2. 鉱業、採石業、砂利採取業 | 0.2% |
| 3. 建設業 | 8.0% | 4. 製造業 | 14.3% |
| 5. 電気・ガス・熱供給・水道業 | 1.8% | 6. 情報通信業 | 7.4% |
| 7. 運輸業、郵便業 | 2.7% | 8. 卸売業、小売業 | 12.0% |
| 9. 金融業、保険業 | 9.6% | 10. 不動産業、物品賃貸業 | 1.1% |
| 11. 学術研究、専門・技術サービス業 | 3.3% | 12. 宿泊業、飲食サービス業 | 2.2% |
| 13. 生活関連サービス業、娯楽業 | 1.9% | 14. 教育、学習支援業 | 10.1% |
| 15. 医療業、福祉業 | 4.9% | 16. 複合サービス事業 | 1.6% |
| 17. サービス業 | 6.5% | 18. 公務 | 11.4% |
| 19. その他（教会 0.1%等） | 0.4% | | |

問 12. 現在の勤務先の所在地をお答えください。

- | | |
|-------------------------------------|-------|
| 1. 宮城県仙台市 | 34.9% |
| 2. 仙台市以外の宮城県 | 12.1% |
| 3. 宮城県以外の東北地方（青森・岩手・秋田・山形・福島） | 17.6% |
| 4. 一都三県（東京・埼玉・千葉・神奈川） | 16.5% |
| 5. その他（大阪府 2.5%、北海道 2.2%、兵庫県 1.4%等） | 18.9% |

問 13. 現在の勤務先の従業員数をお答えください。

- | | | | | | |
|-------------|-------|-------------|-------|---------------|-------|
| 1. 1～5人 | 10.2% | 2. 6～20人 | 10.3% | 3. 21～50人 | 11.7% |
| 4. 51～100人 | 10.4% | 5. 101～300人 | 15.6% | 6. 301～1,000人 | 14.7% |
| 7. 1,001人以上 | 27.2% | | | | |

問 14. 現在の勤務先の業種をお答えください。

1. 農業、林業、漁業	0.6%	2. 鉱業、採石業、砂利採取業	0.1%
3. 建設業	7.9%	4. 製造業	12.6%
5. 電気・ガス・熱供給・水道業	1.4%	6. 情報通信業	6.3%
7. 運輸業、郵便業	3.4%	8. 卸売業、小売業	8.3%
9. 金融業、保険業	7.3%	10. 不動産業、物品賃貸業	1.4%
11. 学術研究、専門・技術サービス業	3.9%	12. 宿泊業、飲食サービス業	1.6%
13. 生活関連サービス業、娯楽業	1.8%	14. 教育、学習支援業	10.4%
15. 医療業、福祉業	6.6%	16. 複合サービス事業	1.6%
17. サービス業	7.8%	18. 公務	12.7%
19. その他（教会 0.1%等）	4.2%		

B. 最後の学校を卒業して、初めて就職した時のことについてお聞きします。

問 15. 最初の就職先に対して、どの程度満足していますか。最もあてはまるもの1つをお答えください。

- 1. とても不満足である 12.7%
- 2. やや不満足である 14.8%
- 3. どちらともいえない 19.7%
- 4. やや満足である 31.4%
- 5. とても満足である 21.4% (平均値 3.34、標準偏差 1.31)

問 16. 最初の就職先を決めるうえで、<組織や仕事に関する要因>について、どの程度重視しましたか。

次の各項目について、それぞれ最もあてはまるもの1つをお答えください。

*まったく重視しなかった：1点、あまり重視しなかった：2点、どちらともいえない：3点、やや重視した：4点、とても重視した：5点として、平均値と標準偏差を算出	平均値	標準偏差
1. 経営者（公務員の場合は首長）の人がらや個性が魅力的である。	2.38	1.21
2. 経営理念や経営方針（公務員の場合は施政方針）に共感できる。	2.86	1.26
3. 経営が安定している。	3.70	1.17
4. 組織の知名度が高い。	3.24	1.30
5. 社会的に意義のある仕事ができる。	3.69	1.14
6. やりがいや挑戦しがいのある仕事ができる。	3.78	1.08
7. 従業員教育や人材育成に熱心である。	3.09	1.13
8. 自分の能力や個性が発揮できる。	3.56	1.08
9. 自分の希望や適性に応じた職場に配置してもらえる。	3.27	1.10
10. 管理職への昇進や上位等級への昇格が望める。	2.75	1.13
11. 仮に転職や独立をする時に、この組織での経験が生かせる。	2.76	1.27
12. 国内の他地域や海外などでも勤務できる。	2.19	1.22
13. 転居を伴う転勤がない、または少ない。	2.94	1.38
14. 職場の人間関係が良い。	3.16	1.12
15. 残業や休日出勤などの長時間労働が少ない。	2.85	1.19
16. 夏休みや年末年始などの休暇がきちんと取得できる。	3.16	1.26
17. 福利厚生が充実している。	3.39	1.19
18. 自宅から職場までの通勤がしやすい。	3.17	1.28
19. 雇用が安定している。	3.72	1.13
20. 賃金面（毎月の給与、賞与など）で条件が良い。	3.47	1.09

問 17. 最初の就職先を決めるうえで、<就職にともなって住むことになる居住地に関する要因>について、どの程度重視しましたか。次の各項目について、それぞれ最もあてはまるもの1つをお答えください。

*まったく重視しなかった：1点、あまり重視しなかった：2点、どちらともいえない：3点、やや重視した：4点、とても重視した：5点として、平均値と標準偏差を算出	平均値	標準偏差
1.買い物をするのが便利である。	2.85	1.23
2.鉄道、地下鉄、バスなどの交通が便利である。	2.96	1.30
3.医療機関や健康増進のための施設が充実している。	2.56	1.13
4.文化、芸術、音楽、スポーツなどの施設やイベントが充実している。	2.38	1.10
5.海、山、川などの自然環境が豊かである。	2.32	1.10
6.地震、津波、台風などの自然災害が少ない。	2.26	1.05
7.電気、ガス、水道などの料金が安い。	2.12	1.00
8.自治体の子育て支援策が充実している。	2.06	1.00
9.自治体に納める税金が安い。	2.00	0.94
10.近隣の住民との交流がある。	2.03	0.98

問 18. 最初の就職先を決めるうえで、<あなた自身に関する要因>について、どの程度重視しましたか。次の各項目について、それぞれ最もあてはまるもの1つをお答えください。

*まったく重視しなかった：1点、あまり重視しなかった：2点、どちらともいえない：3点、やや重視した：4点、とても重視した：5点として、平均値と標準偏差を算出	平均値	標準偏差
1.自分が、実家を継ぐ必要がある。	2.13	1.36
2.自分が、親の面倒をみたり介護したりする必要がある。	2.61	1.33
3.出身地である地元に対する愛着がある。	3.05	1.39
4.都会へのあこがれがある。	2.44	1.21
5.地方へのあこがれがある。	2.22	1.07
6.恋人や配偶者の近くで仕事がしたい。	2.42	1.28

C. 最初の就職後から現在に至るまでのことについてお聞きします。

*C領域については、定年退職や失業等により現在勤務していない回答 100 件を除いた 2,592 件について集計。

問 19. 最初の就職先から現在の勤務先に至るまでの間に転職を経験しましたか。最もあてはまるもの 1 つをお答えください。

- | | | | |
|--------------|-------|-------------|-------|
| 1. 1 回転職した | 23.2% | 2. 2 回転職した | 10.8% |
| 3. 3 回以上転職した | 12.2% | 4. 転職はしていない | 53.9% |

問 20. 現在の勤務先に対して、どの程度満足していますか。最もあてはまるもの 1 つをお答えください。

- | | | | |
|--------------|-------|----------------------|-------|
| 1. とても不満足である | 7.9% | 2. やや不満足である | 13.7% |
| 3. どちらともいえない | 17.7% | 4. やや満足である | 38.7% |
| 5. とても満足である | 22.0% | (平均値 3.53、標準偏差 1.20) | |

問 21. 現在の勤務先の状況についてお答えください。次の各項目について、それぞれ最もあてはまるもの 1 つをお答えください。

*まったくあてはまらない：1点、あまりあてはまらない：2点、どちらともいえない：3点、ややあてはまる：4点、とてもあてはまる：5点として、平均値と標準偏差を算出。	平均値	標準偏差
1. 経営者（公務員の場合は首長）の人がやや個性が魅力的である。	2.97	1.18
2. 経営理念や経営方針（公務員の場合は施政方針）に共感できる。	3.20	1.16
3. 経営が安定している。	3.63	1.14
4. 組織の知名度が高い。	3.49	1.24
5. 社会的に意義のある仕事ができる。	3.91	1.00
6. やりがいや挑戦しがいのある仕事ができる。	3.76	1.07
7. 従業員教育や人材育成に熱心である。	3.20	1.14
8. 自分の能力や個性が発揮できる。	3.62	1.08
9. 自分の希望や適性に合った職場に配置してもらえる。	3.28	1.14
10. 管理職への昇進や上位等級への昇格が望める。	3.05	1.21
11. 仮に転職や独立をする時に、この組織での経験が活かせる。	3.24	1.23
12. 国内の他地域や海外などでも勤務できる。	2.45	1.33
13. 転居を伴う転勤がない、または少ない。	3.32	1.43
14. 職場の人間関係が良い。	3.50	1.03
15. 残業や休日出勤などの長時間労働が少ない。	3.05	1.29
16. 夏休みや年末年始などの休暇がきちんと取得できる。	3.60	1.25
17. 福利厚生が充実している。	3.46	1.19
18. 自宅から職場までの通勤がしやすい。	3.75	1.18
19. 雇用が安定している。	3.75	1.15
20. 賃金面（毎月の給与、賞与など）で条件が良い。	3.29	1.20

問 22. 現在住んでいる居住地に対して、どの程度満足していますか。最もあてはまるもの1つをお答えください。

- 1. とても不満足である **7.2%**
- 2. やや不満足である **11.3%**
- 3. どちらともいえない **12.8%**
- 4. やや満足である **39.3%**
- 5. とても満足である **29.4%** (平均値 3.72、標準偏差 1.20)

問 23. 現在住んでいる居住地の状況についてお答えください。次の各項目について、それぞれ最もあてはまるもの1つをお答えください。

*まったくあてはまらない：1点、あまりあてはまらない：2点、どちらともいえない：3点、ややあてはまる：4点、とてもあてはまる：5点として、平均値と標準偏差を算出。	平均値	標準偏差
1.買い物をするのが便利である。	3.84	1.11
2.鉄道、地下鉄、バスなどの交通が便利である。	3.42	1.37
3.医療機関や健康増進のための施設が充実している。	3.46	1.14
4.文化、芸術、音楽、スポーツなどの施設やイベントが充実している。	3.06	1.20
5.海、山、川などの自然環境が豊かである。	3.53	1.16
6.地震、津波、台風などの自然災害が少ない。	3.33	1.14
7.電気、ガス、水道などの料金が安い。	2.72	0.80
8.自治体の子育て支援策が充実している。	2.88	0.89
9.自治体に納める税金が安い。	2.56	0.82
10.近隣の住民との交流がある。	2.89	1.07

問 24. 現在のあなた自身や家族の状況についてお答えください。次の各項目について、それぞれ最もあてはまるもの1つをお答えください。

*まったくあてはまらない：1点、あまりあてはまらない：2点、どちらともいえない：3点、ややあてはまる：4点、とてもあてはまる：5点として、平均値と標準偏差を算出。	平均値	標準偏差
1.自分が、実家を継ぐ必要がある。	2.50	1.57
2.自分が、親の面倒をみたり介護したりする必要がある。	3.34	1.41
3.出身地である地元に対する愛着がある。	3.62	1.23
4.都会へのあこがれがある。	2.58	1.23
5.地方へのあこがれがある。	2.59	1.14
6.恋人や配偶者の近くで仕事がしたい。	3.40	1.33

D. 宮城県以外で勤務している方だけに、将来のことについてお聞きします。

*問 25 については、宮城県内勤務者 1,272 件を除いた 1,420 件を分母として集計。さらに問 26～29 については、問 25 で転職・起業を希望しない 847 件 (59.6%) を除いた 573 件を分母として集計。

問 25. 将来、宮城県内での転職や起業を希望しますか。最もあてはまるもの 1 つをお答えください。

- | | |
|---------------------|-------|
| 1. 転職を希望する | 3.9% |
| 2. 起業を希望する | 1.3% |
| 3. 条件などが希望に合えば転職したい | 27.6% |
| 4. 条件などが希望に合えば起業したい | 7.6% |
| 5. 希望しない | 59.6% |

問 26. 宮城県内で転職や起業をするきっかけとなりそうな出来事は何ですか。最もあてはまるもの 1 つをお答えください。

- | | |
|---------------------|-------|
| 1. 結婚 | 21.3% |
| 2. 子どもの誕生 | 3.0% |
| 3. 子どもの独立 | 18.3% |
| 4. 家族の介護 | 24.8% |
| 5. その他 (定年退職 5.1%等) | 32.6% |

問 27. 宮城県内で転職や起業をしたら、どのようにして情報を収集しますか。最もあてはまるもの 1 つをお答えください。

- | | |
|--------------------------|-------|
| 1. 転職情報サイト | 39.4% |
| 2. ハローワーク | 18.5% |
| 3. 個別企業や団体のホームページ | 18.3% |
| 4. 友人や知人 | 21.5% |
| 5. その他 (今はまだ分からない 0.7%等) | 2.3% |

問 28. 宮城県内で転職をするとしたら、＜転職先に関する要因＞について、どの程度不安や課題を感じますか。次の各項目について、それぞれ最もあてはまるもの1つをお答えください。

*まったく感じない：1点、あまり感じない：2点、どちらともいえない：3点、やや感じる：4点、とても感じる：5点として、平均値と標準偏差を算出。	平均値	標準偏差
1.企業や団体に関する情報が十分に得られるか。	3.76	1.04
2.希望する業種や職種があるか。	4.09	1.01
3.希望する賃金（毎月の給与、賞与など）が得られるか。	4.01	1.05
4.雇用が安定しているか。	3.94	1.03
5.自宅から職場までの通勤がしやすいか。	3.58	1.07
6.休日や休暇がきちんと取得できるか。	3.84	1.02
7.福利厚生がどの程度充実しているか。	3.72	1.00
8.職場の人間関係が良いか。	3.90	1.00
9.転居を伴う転勤がどの程度あるか。	3.64	1.14
10.管理職への昇進や上位等級への昇格が望めるか。	3.27	1.17

問 29. 宮城県内で転職をするとしたら、＜転職にともなって住むことになる居住地に関する要因＞について、どの程度不安や課題を感じますか。次の各項目について、それぞれ最もあてはまるもの1つをお答えください。

*まったく感じない：1点、あまり感じない：2点、どちらともいえない：3点、やや感じる：4点、とても感じる：5点として、平均値と標準偏差を算出。	平均値	標準偏差
1.買い物をするのが便利か。	3.74	1.00
2.鉄道、地下鉄、バスなどの交通が便利か。	3.81	0.99
3.医療機関や健康増進のための施設が充実しているか。	3.67	1.02
4.文化、芸術、音楽、スポーツなどの施設やイベントが充実しているか。	3.25	1.11
5.海、山、川などの自然環境が豊かであるか。	3.18	1.15
6.地震、津波、台風などの自然災害が少ないか。	3.63	1.12
7.電気、ガス、水道などの料金が安い。	3.36	0.97
8.自治体の子育て支援策が充実しているか。	3.17	1.12
9.自治体に納める税金が安い。	3.31	0.99
10.近隣の住民との交流があるか。	2.98	1.06

Ⅱ. 就職時に関する詳細分析

【分析手順】

回答のあった 2,702 件のうち、不完全回答等の 10 件を除いた 2,692 件について、以下の手順で分析を行った。

(1) 問 9 の回答を、「就職地区分」として以下の 2 群に集約化した。

- | | |
|-------------------|-------|
| 1. 宮城県 (選択肢 1～2) | 46.8% |
| 2. 宮城県外 (選択肢 3～5) | 53.2% |

(2) 問 5 及び問 9 の回答から、「就職パターン」を以下の 4 群に分類した。

- | | |
|-------------------------------|-------|
| 1. 地元で就職 (宮城県出身者で、宮城県内に就職) | 35.8% |
| 2. 宮城に I ターン (県外出身者で、宮城県内に就職) | 11.0% |
| 3. 県外へ流出 (宮城県出身者で、県外に就職) | 18.2% |
| 4. 県外へ U・J ターン (県外出身者で、県外に就職) | 34.9% |

(3) 問 8 「卒業学部」及び問 10 「最初の就職先の従業員数」の選択項目を集約化した。

(4) 問 16 の＜組織や仕事に関する要因＞20 項目を因子分析にかけ、以下の 5 要因に集約し得点化した。

なお、項番 7、17 は統計的信頼性が低いため集計対象から除外した。

- | | |
|---------------------|---------------------------|
| 1. ワークライフバランス (WLB) | : 項番 13、14、15、16、18 の合計得点 |
| 2. 経営・雇用の安定 | : 項番 3、4、19、20 の合計得点 |
| 3. 仕事のやりがい | : 項番 5、6、8、9 の合計得点 |
| 4. 経営者・理念の魅力 | : 項番 1、2 の合計得点 |
| 5. キャリアアップ | : 項番 10、11、12 の合計得点 |

(5) 問 17 の＜居住地に関する要因＞10 項目を因子分析にかけ、以下の 2 要因に集約し得点化した。

- | | |
|---------------|-------------------------|
| 1. 安全・安心な生活環境 | : 項番 5、6、7、8、9、10 の合計得点 |
| 2. 生活の利便性 | : 項番 1、2、3、4 の合計得点 |

(6) 問 18 の＜自分自身の要因＞6 項目を因子分析にかけ、以下の 1 要因に集約し得点化した。なお、項番 4、5、6 は統計的信頼性が低いため集計対象から除外した。

- | | |
|-----------|------------------|
| 1. 実家での役割 | : 項番 1、2、3 の合計得点 |
|-----------|------------------|

(7) ①年代別、②就職地別、③就職パターン別、④就職先の従業員規模別に、問 15 「就職先満足度」、問 16 の 5 要因、問 17 の 2 要因、問 18 の 1 要因の平均値の差異を計算し、統計的に意味のある差が見出された要因のみを、表 1～表 4 に表示した。

なお、表中の青い網掛けは平均値が高いこと、赤い網掛けは平均値が低いことを示す。

表 1. 年代による平均値の差異

		度数	平均値	標準偏差	最小値	最大値
Q15 就職先満足度	20歳代	669	3.19	1.282	1	5
	30歳代	555	3.12	1.274	1	5
	40歳代	559	3.35	1.304	1	5
	50歳代	591	3.50	1.315	1	5
	60歳代以上	318	3.72	1.307	1	5
	合計	2,692	3.34	1.309	1	5
就職時_仕事要因_WLB	20歳代	669	17.09	4.388	5	25
	30歳代	555	15.10	4.696	5	25
	40歳代	559	15.08	4.518	5	25
	50歳代	591	14.24	4.224	5	25
	60歳代以上	318	14.07	3.982	5	24
	合計	2,692	15.28	4.536	5	25
就職時_仕事要因_経営・雇用の安定	20歳代	669	14.42	3.492	4	20
	30歳代	555	13.53	3.698	4	20
	40歳代	559	13.97	3.818	4	20
	50歳代	591	14.09	3.581	4	20
	60歳代以上	318	14.83	3.734	4	20
	合計	2,692	14.12	3.671	4	20
就職時_仕事要因_仕事のやりがい	20歳代	669	14.49	3.188	4	20
	30歳代	555	13.90	3.611	4	20
	40歳代	559	14.00	3.607	4	20
	50歳代	591	14.31	3.462	4	20
	60歳代以上	318	15.21	3.274	4	20
	合計	2,692	14.31	3.457	4	20
就職時_仕事要因_経営者・理念の魅力	20歳代	669	5.44	2.170	2	10
	30歳代	555	5.06	2.203	2	10
	40歳代	559	5.02	2.257	2	10
	50歳代	591	5.12	2.245	2	10
	60歳代以上	318	5.82	2.175	2	10
	合計	2,692	5.25	2.226	2	10
就職時_仕事要因_キャリアアップ	20歳代	669	8.00	2.554	3	15
	30歳代	555	7.31	2.667	3	15
	40歳代	559	7.37	2.749	3	15
	50歳代	591	7.51	2.638	3	15
	60歳代以上	318	8.71	2.736	3	15
	合計	2,692	7.70	2.695	3	15
就職時_生活要因_安全・安心な生活環境	20歳代	669	13.13	5.182	6	30
	30歳代	555	12.21	5.169	6	30
	40歳代	559	12.37	5.157	6	30
	50歳代	591	12.82	5.256	6	30
	60歳代以上	318	13.76	4.853	6	26
	合計	2,692	12.79	5.173	6	30
就職時_生活要因_生活の利便性	20歳代	669	11.66	3.875	4	20
	30歳代	555	10.53	4.119	4	20
	40歳代	559	10.57	3.966	4	20
	50歳代	591	10.24	4.024	4	20
	60歳代以上	318	10.39	3.801	4	20
	合計	2,692	10.74	4.003	4	20
就職時_個人要因_実家での役割	20歳代	669	7.48	3.137	3	15
	30歳代	555	7.63	3.258	3	15
	40歳代	559	8.01	3.356	3	15
	50歳代	591	8.06	3.521	3	15
	60歳代以上	318	7.78	3.460	3	15
	合計	2,692	7.78	3.339	3	15

【表1のポイント】

就職先満足度は60歳代以上が最も高く、30歳代が最も低い。60歳代以上は、WLBこそ最も低いものの、経営・雇用の安定、仕事のやりがい、経営者・理念の魅力、キャリアアップ、安全・安心な生活環境のいずれも最も高く、これらを重視して就職活動をした様子が見えらる。

一方の30歳代は、経営・雇用の安定、仕事のやりがい、キャリアアップ、安全・安心な生活環境のいずれも最も低く、このことが就職先満足度の低さに関連していると思われる。

表2. 就職地による平均値の差異

		度数	平均値	標準偏差	最小値	最大値
Q15 就職先満足度	宮城県	1,261	3.23	1.299	1	5
	宮城県外	1,431	3.44	1.310	1	5
	合計	2,692	3.34	1.309	1	5
就職_仕事_WLB	宮城県	1,261	16.25	4.499	5	25
	宮城県外	1,431	14.42	4.394	5	25
	合計	2,692	15.28	4.536	5	25
就職_仕事_経営・雇用の安定	宮城県	1,261	13.91	3.665	4	20
	宮城県外	1,431	14.31	3.668	4	20
	合計	2,692	14.12	3.671	4	20
就職_仕事_仕事のやりがい	宮城県	1,261	13.97	3.493	4	20
	宮城県外	1,431	14.61	3.399	4	20
	合計	2,692	14.31	3.457	4	20
就職_仕事_キャリアアップ	宮城県	1,261	7.37	2.565	3	15
	宮城県外	1,431	8.00	2.773	3	15
	合計	2,692	7.70	2.695	3	15
就職_生活_安全・安心な生活環境	宮城県	1,261	13.09	5.105	6	30
	宮城県外	1,431	12.53	5.220	6	30
	合計	2,692	12.79	5.173	6	30
就職_生活_生活の利便性	宮城県	1,261	11.11	3.882	4	20
	宮城県外	1,431	10.41	4.081	4	20
	合計	2,692	10.74	4.003	4	20
就職_個人_実家での役割	宮城県	1,261	8.03	3.243	3	15
	宮城県外	1,431	7.57	3.408	3	15
	合計	2,692	7.78	3.339	3	15

【表2のポイント】

宮城県外に就職した人より宮城県内に就職した人の方が就職先満足度は低い。宮城県内就職者は、経営・雇用の安定、仕事のやりがい、キャリアアップの重視度が低い。その反面、WLB、安全・安心な生活環境、生活の利便性、実家での役割の重視度が高い。

すなわち、宮城県内就職者は、就職先を決める際に仕事そのものよりも、生活のしやすさや実家での役割を重視しており、そのことが就職先満足度の低さに関連していると考えられる。

表3. 就職パターンによる平均値の差異

		度数	平均値	標準偏差	最小値	最大値
Q15 就職先満足度	地元で就職	964	3.26	1.289	1	5
	宮城にIターン	297	3.13	1.329	1	5
	県外へ流出	491	3.44	1.296	1	5
	県外へU・Jターン	940	3.44	1.318	1	5
	合計	2,692	3.34	1.309	1	5
就職時_仕事要因_WLB	地元で就職	964	16.35	4.533	5	25
	宮城にIターン	297	15.95	4.382	5	25
	県外へ流出	491	13.94	4.443	5	25
	県外へU・Jターン	940	14.67	4.349	5	25
	合計	2,692	15.28	4.536	5	25
就職時_仕事要因_経営・雇用の安定	地元で就職	964	13.98	3.650	4	20
	宮城にIターン	297	13.68	3.708	4	20
	県外へ流出	491	14.48	3.824	4	20
	県外へU・Jターン	940	14.22	3.583	4	20
	合計	2,692	14.12	3.671	4	20
就職時_仕事要因_仕事のやりがい	地元で就職	964	13.88	3.558	4	20
	宮城にIターン	297	14.28	3.261	4	20
	県外へ流出	491	14.36	3.476	4	20
	県外へU・Jターン	940	14.74	3.352	4	20
	合計	2,692	14.31	3.457	4	20
就職時_仕事要因_キャリアアップ	地元で就職	964	7.33	2.552	3	15
	宮城にIターン	297	7.52	2.605	3	15
	県外へ流出	491	8.16	2.829	3	15
	県外へU・Jターン	940	7.91	2.741	3	15
	合計	2,692	7.70	2.695	3	15
就職時_生活要因_安全・安心な生活環境	地元で就職	964	13.07	5.172	6	30
	宮城にIターン	297	13.15	4.889	6	25
	県外へ流出	491	12.11	5.121	6	30
	県外へU・Jターン	940	12.74	5.260	6	30
	合計	2,692	12.79	5.173	6	30
就職時_生活要因_生活の利便性	地元で就職	964	10.90	3.922	4	20
	宮城にIターン	297	11.77	3.679	4	20
	県外へ流出	491	10.70	4.086	4	20
	県外へU・Jターン	940	10.26	4.073	4	20
	合計	2,692	10.74	4.003	4	20
就職時_個人要因_実家での役割	地元で就職	964	8.49	3.182	3	15
	宮城にIターン	297	6.53	2.975	3	15
	県外へ流出	491	6.69	2.970	3	15
	県外へU・Jターン	940	8.02	3.532	3	15
	合計	2,692	7.78	3.339	3	15

【表3のポイント】

県外へ流出した人及び県外へU・Jターンした人の就職先満足度が最も高い。この2群は、WLBの重視度が低く、経営・雇用の安定、仕事のやりがい、キャリアアップの重視度が高い。

一方、地元で就職した人は仕事のやりがいやキャリアアップの重視度が低く、WLBや実家での役割の重視度が高い。

また、宮城にIターンした人は、経営・雇用の安定や実家での役割の重視度が低く、安全・安心な生活環境や生活の利便性の重視度が高い。

すなわち、大学生活を通して宮城県での生活のしやすさに魅力を感じた人が宮城にIターンしている様子が見えてくる。

表 4. 就職先の従業員規模による平均値の差異

		度数	平均値	標準偏差	最小値	最大値
Q15 就職先満足度	50人以下	598	3.15	1.354	1	5
	100人以下	282	3.15	1.273	1	5
	300人以下	450	3.06	1.301	1	5
	1,000人以下	455	3.41	1.176	1	5
	1,001人以上	907	3.62	1.300	1	5
	合計	2,692	3.34	1.309	1	5
就職時_仕事要因_WLB	50人以下	598	15.57	4.660	5	25
	100人以下	282	15.27	4.443	5	25
	300人以下	450	16.01	4.509	5	25
	1,000人以下	455	15.63	4.431	5	25
	1,001人以上	907	14.55	4.457	5	25
	合計	2,692	15.28	4.536	5	25
就職時_仕事要因_経営・雇用の安定	50人以下	598	12.77	3.824	4	20
	100人以下	282	12.88	3.751	4	20
	300人以下	450	13.45	3.644	4	20
	1,000人以下	455	14.48	3.109	4	20
	1,001人以上	907	15.55	3.255	4	20
	合計	2,692	14.12	3.671	4	20
就職時_仕事要因_仕事のやりがい	50人以下	598	14.53	3.551	4	20
	100人以下	282	13.78	3.782	4	20
	300人以下	450	13.66	3.596	4	20
	1,000人以下	455	14.12	3.182	4	20
	1,001人以上	907	14.75	3.278	4	20
	合計	2,692	14.31	3.457	4	20
就職時_仕事要因_経営者・理念の魅力	50人以下	598	5.46	2.341	2	10
	100人以下	282	5.08	2.243	2	10
	300人以下	450	5.08	2.102	2	10
	1,000人以下	455	4.95	2.097	2	10
	1,001人以上	907	5.39	2.246	2	10
	合計	2,692	5.25	2.226	2	10
就職時_仕事要因_キャリアアップ	50人以下	598	7.40	2.633	3	15
	100人以下	282	7.16	2.551	3	15
	300人以下	450	7.47	2.611	3	14
	1,000人以下	455	7.62	2.590	3	15
	1,001人以上	907	8.23	2.789	3	15
	合計	2,692	7.70	2.695	3	15
就職時_生活要因_安全・安心な生活環境	50人以下	598	13.3	5.372	6	30
	100人以下	282	12.52	5.127	6	24
	300人以下	450	13.15	5.173	6	29
	1,000人以下	455	12.75	4.932	6	30
	1,001人以上	907	12.38	5.142	6	29
	合計	2,692	12.79	5.173	6	30
就職時_個人要因_実家での役割	50人以下	598	7.75	3.260	3	15
	100人以下	282	8.17	3.240	3	15
	300人以下	450	7.98	3.355	3	15
	1,000人以下	455	8.22	3.441	3	15
	1,001人以上	907	7.37	3.319	3	15
	合計	2,692	7.78	3.339	3	15

【表 4 のポイント】

従業員規模 1,001 人以上の企業に就職した人の就職先満足度が高い。この群は、WLB の重視度が低いものの、経営・雇用の安定、仕事のやりがい、経営者・理念の魅力、キャリアアップの重視度が高い。このことが就職先満足度の高さに関連していると考えられる。

また、従業員規模 50 人以下に就職した人は、経営・雇用の安定の重視度は低い、仕事のやりがい、経営者・理念の魅力、安全・安心な生活環境の重視度は高い。

Ⅲ. 現在の勤務先や居住地に関する詳細分析

【分析手順】

2,692 件の回答のうち、定年退職や失業等により現在勤務していない回答 100 件を除いた 2,592 件について、以下の手順で分析を行った。

- (1) 問 13「現在の勤務先の従業員数」の選択項目を集約化した。
- (2) 問 21 の〈現在の勤務先の状況〉20 項目を因子分析にかけ、以下の 4 要因に集約し得点化した。なお、項番 7、10、12、14 は統計的信頼性が低いため集計対象から除外した。
 1. 経営・雇用の安定 : 項番 3、4、17、19、20 の合計得点
 2. 仕事のやりがい : 項番 5、6、8、9、11 の合計得点
 3. ワークライフバランス (WLB) : 項番 13、15、16、18 の合計得点
 4. 経営者・理念の魅力 : 項番 1、2 の合計得点
- (3) 問 23 の〈現在住んでいる居住地の状況〉10 項目を因子分析にかけ、以下の 2 要因に集約し得点化した。なお、項番 5、6、10 は統計的信頼性が低いため集計対象から除外した。
 1. 生活の利便性 : 項番 1、2、3、4 の合計得点
 2. 自治体の充実した支援 : 項番 7、8、9 の合計得点
- (4) 問 24 の〈自分自身や家族の状況〉6 項目を因子分析にかけ、以下の 1 要因に集約し得点化した。なお、項番 3、4、5、6 は統計的信頼性が低いため集計対象から除外した。
 1. 実家での役割 : 項番 1、2 の合計得点
- (5) ①年代別、②現在の勤務先の所在地別、③現在の勤務先の従業員規模別に、問 20「勤務先満足度」、問 21 の 4 要因、問 22「居住地満足度」、問 23 の 2 要因、問 24 の 1 要因の平均値の差異を計算し、統計的に意味のある差が見出された要因のみを、表 5～表 7 に表示した。
 なお、表中の青い網掛けは平均値が高いこと、赤い網掛けは平均値が低いことを示す。

表 5. 年代による平均値の差異

		度数	平均値	標準偏差	最小値	最大値
Q20 勤務先満足度	20歳代	655	3.41	1.179	1	5
	30歳代	536	3.49	1.229	1	5
	40歳代	547	3.58	1.222	1	5
	50歳代	586	3.58	1.186	1	5
	60歳代以上	268	3.72	1.152	1	5
	合計	2,592	3.53	1.200	1	5
現在_仕事要因_経営・雇用の安定	20歳代	655	18.31	4.379	5	25
	30歳代	536	17.41	4.695	5	25
	40歳代	547	17.81	4.615	5	25
	50歳代	586	17.33	4.534	5	25
	60歳代以上	268	16.68	4.594	5	25
	合計	2,592	17.63	4.577	5	25
現在_仕事要因_WLB	20歳代	655	14.00	3.403	4	20
	30歳代	536	13.78	3.577	4	20
	40歳代	547	13.54	3.557	4	20
	50歳代	586	13.47	3.446	4	20
	60歳代以上	268	13.88	3.533	4	20
	合計	2,592	13.72	3.499	4	20
Q22 居住地満足度	20歳代	655	3.57	1.255	1	5
	30歳代	536	3.67	1.202	1	5
	40歳代	547	3.80	1.169	1	5
	50歳代	586	3.76	1.180	1	5
	60歳代以上	268	3.98	1.133	1	5
	合計	2,592	3.72	1.203	1	5
現在_生活要因_生活の利便性	20歳代	655	13.45	4.022	4	20
	30歳代	536	13.41	4.243	4	20
	40歳代	547	14.06	4.028	4	20
	50歳代	586	13.84	4.059	4	20
	60歳代以上	268	14.63	3.831	4	20
	合計	2,592	13.78	4.075	4	20
現在_個人要因_実家での役割	20歳代	655	5.01	2.371	2	10
	30歳代	536	5.77	2.455	2	10
	40歳代	547	6.31	2.568	2	10
	50歳代	586	6.41	2.654	2	10
	60歳代以上	268	5.71	3.041	2	10
	合計	2,592	5.83	2.626	2	10

【表5のポイント】

60歳代以上の勤務先満足度が最も高い。ただし、経営・雇用の安定は最も低い。これは、雇用延長や再雇用という人事処遇に直面する年代のためと考えられる。また、居住地満足度も最も高い。これは、生活の利便性が最も高いことが関連していると考えられる。

逆に20歳代は、経営・雇用の安定やWLBは高いが、生活の利便性や実家での役割は低い。

表6. 現在の勤務先の所在地による平均値の差異

		度数	平均値	標準偏差	最小値	最大値
Q20 勤務先満足度	宮城県仙台市	939	3.48	1.183	1	5
	仙台市以外の宮城県	326	3.49	1.240	1	5
	宮城県以外の東北地方	473	3.44	1.185	1	5
	一都三県	445	3.53	1.255	1	5
	その他	409	3.78	1.137	1	5
	合計	2,592	3.53	1.200	1	5
現在_仕事要因_仕事のやりがい	宮城県仙台市	939	17.62	4.078	5	25
	仙台市以外の宮城県	326	17.88	4.480	5	25
	宮城県以外の東北地方	473	17.46	4.279	5	25
	一都三県	445	18.04	4.219	5	25
	その他	409	18.33	4.163	5	25
	合計	2,592	17.81	4.212	5	25
現在_仕事要因_WLB	宮城県仙台市	939	14.19	3.445	4	20
	仙台市以外の宮城県	326	13.78	3.504	4	20
	宮城県以外の東北地方	473	13.70	3.582	4	20
	一都三県	445	13.20	3.409	4	20
	その他	409	13.22	3.487	4	20
	合計	2,592	13.72	3.499	4	20
Q22 居住地満足度	宮城県仙台市	939	3.84	1.187	1	5
	仙台市以外の宮城県	326	3.67	1.163	1	5
	宮城県以外の東北地方	473	3.44	1.265	1	5
	一都三県	445	3.69	1.179	1	5
	その他	409	3.85	1.169	1	5
	合計	2,592	3.72	1.203	1	5
現在_生活要因_生活の利便性	宮城県仙台市	939	14.54	3.872	4	20
	仙台市以外の宮城県	326	12.30	4.137	4	20
	宮城県以外の東北地方	473	11.68	3.940	4	20
	一都三県	445	15.35	3.339	4	20
	その他	409	13.95	4.048	4	20
	合計	2,592	13.78	4.075	4	20
現在_生活要因_自治体の充実した支援	宮城県仙台市	939	7.97	1.978	3	15
	仙台市以外の宮城県	326	8.15	2.176	3	15
	宮城県以外の東北地方	473	8.23	2.028	3	15
	一都三県	445	8.18	2.106	3	15
	その他	409	8.42	2.014	3	15
	合計	2,592	8.15	2.045	3	15
現在_個人要因_実家での役割	宮城県仙台市	939	5.75	2.519	2	10
	仙台市以外の宮城県	326	6.37	2.699	2	10
	宮城県以外の東北地方	473	6.74	2.693	2	10
	一都三県	445	4.92	2.382	2	10
	その他	409	5.53	2.575	2	10
	合計	2,592	5.83	2.626	2	10

【表6のポイント】

勤務先満足度が最も高いのは、その他（宮城県を含む東北地方以外かつ一都三県以外）である。これは、WLBは低いものの、仕事のやりがいが高いたことが関連していると思われる。

宮城県仙台市も居住地満足度は高い。これはWLBや生活の利便性が高いことと関連していると考えられる。

表 7. 現在の勤務先の従業員規模による平均値の差異

		度数	平均値	標準偏差	最小値	最大値
Q20 勤務先満足度	50人以下	782	3.52	1.211	1	5
	100人以下	279	3.47	1.168	1	5
	300人以下	417	3.39	1.222	1	5
	1,000人以下	391	3.53	1.165	1	5
	1,001人以上	723	3.65	1.198	1	5
	合計	2,592	3.53	1.200	1	5
現在_仕事要因_経営・雇用の安定	50人以下	782	16.07	4.928	5	25
	100人以下	279	16.67	4.528	5	25
	300人以下	417	17.19	4.079	5	25
	1,000人以下	391	18.29	4.140	5	25
	1,001人以上	723	19.58	3.873	5	25
	合計	2,592	17.63	4.577	5	25
現在_仕事要因_仕事のやりがい	50人以下	782	18.13	4.347	5	25
	100人以下	279	17.54	4.084	5	25
	300人以下	417	17.54	3.858	5	25
	1,000人以下	391	17.81	4.188	5	25
	1,001人以上	723	17.71	4.308	5	25
	合計	2,592	17.81	4.212	5	25
現在_仕事要因_WLB	50人以下	782	13.89	3.722	4	20
	100人以下	279	13.72	3.475	4	20
	300人以下	417	13.94	3.340	4	20
	1,000人以下	391	13.83	3.234	4	20
	1,001人以上	723	13.37	3.469	4	20
	合計	2,592	13.72	3.499	4	20
現在_仕事要因_経営者・理念の魅力	50人以下	782	6.29	2.320	2	10
	100人以下	279	6.01	2.121	2	10
	300人以下	417	5.97	2.053	2	10
	1,000人以下	391	6.10	2.103	2	10
	1,001人以上	723	6.24	2.207	2	10
	合計	2,592	6.16	2.195	2	10
現在_生活要因_生活の利便性	50人以下	782	13.73	4.082	4	20
	100人以下	279	13.44	4.140	4	20
	300人以下	417	13.28	4.015	4	20
	1,000人以下	391	13.92	4.047	4	20
	1,001人以上	723	14.19	4.056	4	20
	合計	2,592	13.78	4.075	4	20
現在_個人要因_実家での役割	50人以下	782	6.01	2.764	2	10
	100人以下	279	6.09	2.661	2	10
	300人以下	417	5.77	2.638	2	10
	1,000人以下	391	5.78	2.608	2	10
	1,001人以上	723	5.61	2.440	2	10
	合計	2,592	5.83	2.626	2	10

【表7のポイント】

勤務先満足度が最も高いのは、従業員 1,001 人以上の勤務先である。この群では、経営・雇用の安定、経営者・理念の魅力、生活の利便性が高い。

一方、勤務先満足度が最も低いのは、従業員 300 人以下の勤務先である。この群では、仕事のやりがい、経営者・理念の魅力、生活の利便性が低い。

また、50 人以下の勤務先では、経営・雇用の安定は低いものの、仕事のやりがい、経営者・理念の魅力は高い。

IV. 宮城県内への転職・起業意向に関する詳細分析

【分析手順】

2,692 件の回答のうち、宮城県内勤務者 1,272 件を除いた 1,420 件について、以下の手順で分析を行った。

(1) 問 25 の回答を、「転職・起業意向」として以下の 2 群に集約化した。

- 1. 転職・起業を希望する（選択肢 1～4） 40.4%
- 2. 転職・起業を希望しない（選択肢 5） 59.6%

(2) 回答者の基本属性（問 1～14）及び転職経験（問 19）と、上記の「転職・起業意向」とのクロス集計分析を行った。その上で、構成比率について統計的に意味のある差が見出された基本属性等を、表 8-1 から 8-8 に表示した。なお表中の青い網掛けは、その構成比率が高いことを示す。

(3) 「転職・起業意向」別に、問 15 「就職先満足度」、問 16 の 5 要因、問 17 の 2 要因、問 18 の 1 要因、問 20 「勤務先満足度」、問 21 の 4 要因、問 22 「居住地満足度」、問 23 の 2 要因、問 24 の 1 要因の平均値の差異を計算した。その上で、統計的に意味のある差が見出された要因のみを表 9 に表示した。

なお、表中の赤い網掛けは平均値が低いことを示す。

(4) 問 25 で「転職・起業を希望する」と回答した 573 件を対象として、下位分析を行った。具体的には、問 28<転職先に関する要因>10 項目及び問 29<居住地に関する要因>10 項目を一緒にした上で、平均値の高い順にソートした（表 10）。

なお、表中の青い網掛けは転職先に関する要因、赤い網掛けは居住地に関する要因を示す。

表 8-1. 年齢による転職・起業意向比率の差異

		Q2 年齢					合計
		20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代以上	
転職・起業意向	転職・起業を希望する	158 27.6%	126 22.0%	133 23.2%	117 20.4%	39 6.8%	573 100.0%
	転職・起業を希望しない	145 17.1%	149 17.6%	188 22.2%	218 25.7%	147 17.4%	847 100.0%
合計	度数	303	275	321	335	186	1,420
	%	21.3%	19.4%	22.6%	23.6%	13.1%	100.0%

表 8-2. 婚姻状況による転職・起業意向比率の差異

		Q3 婚姻状況		合計
		独身	既婚	
転職・起業意向	転職・起業を希望する	253 44.2%	320 55.8%	573 100.0%
	転職・起業を希望しない	236 27.9%	611 72.1%	847 100.0%
合計	度数	489	931	1,420
	%	34.4%	65.6%	100.0%

表 8-3. 家族状況による転職・起業意向比率の差異

		Q4 家族状況		合計
		子供なし	子供あり	
転職・起業意向	転職・起業を希望する	310 54.1%	263 45.9%	573 100.0%
	転職・起業を希望しない	310 36.6%	537 63.4%	847 100.0%
合計	度数	620	800	1,420
	%	43.7%	56.3%	100.0%

表 8-4. 出身地区分による転職・起業意向比率の差異

			Q5_S 出身地区分		合計
			宮城県	宮城県外	
転職・起業意向	転職・起業を希	度数	224	349	573
	望する	%	39.1%	60.9%	100.0%
	転職・起業を希	度数	217	630	847
	望しない	%	25.6%	74.4%	100.0%
合計		度数	441	979	1,420
		%	31.1%	68.9%	100.0%

表 8-5. 就職地区分による転職・起業意向比率の差異

			Q9_S 就職地区分		合計
			宮城県	宮城県外	
転職・起業意向	転職・起業を希	度数	117	456	573
	望する	%	20.4%	79.6%	100.0%
	転職・起業を希	度数	123	724	847
	望しない	%	14.5%	85.5%	100.0%
合計		度数	240	1180	1,420
		%	16.9%	83.1%	100.0%

表 8-6. 現在の勤務先の所在地による転職・起業意向比率の差異

			Q12 現在の勤務先の所在地				合計
			宮城県以外の の東北地方	一都三県	その他	退職・無職	
転職・起業意向	転職・起業を希	度数	185	207	150	31	573
	望する	%	32.3%	36.1%	26.2%	5.4%	100.0%
	転職・起業を希	度数	288	238	259	62	847
	望しない	%	34.0%	28.1%	30.6%	7.3%	100.0%
合計		度数	473	445	409	93	1,420
		%	33.3%	31.3%	28.8%	6.6%	100.0%

表 8-7. 現在の勤務先規模による転職・起業意向比率の差異

			Q13_S 現在の勤務先規模					合計
			50人以下	100人以下	300人以下	1,000人 以下	1,001人 以上	
転職・起業意向	転職・起業を希	度数	148	53	68	97	207	573
	望する	%	25.8%	9.2%	11.9%	16.9%	36.1%	100.0%
	転職・起業を希	度数	279	84	115	105	264	847
	望しない	%	32.9%	9.9%	13.6%	12.4%	31.2%	100.0%
合計		度数	427	137	183	202	471	1,420
		%	30.1%	9.6%	12.9%	14.2%	33.2%	100.0%

表 8-8. 転職経験による転職・起業意向比率の差異

			Q19 転職経験				合計
			1回転職	2回転職	3回以上 転職	転職はして いない	
転職・起業意向	転職・起業を希	度数	113	71	78	311	573
	望する	%	19.7%	12.4%	13.6%	54.3%	100.0%
	転職・起業を希	度数	209	68	96	474	847
	望しない	%	24.7%	8.0%	11.3%	56.0%	100.0%
合計		度数	322	139	174	785	1,420
		%	22.7%	9.8%	12.3%	55.3%	100.0%

【表 8 のポイント】

現在は宮城県外に勤務しており、将来宮城県内での転職や起業を希望する群と希望しない群を属性ごとに比較してみると、転職や起業を希望する割合は、年齢別では 20 歳代や 30 歳代（表 8-1）、婚姻状況では独身（表 8-2）、家族状況では子供なし（表 8-3）の割合が高い。

また、出身地では宮城県の割合が高く（表 8-4）、勤務先で見ると最初の就職先では宮城県（表 8-5）、現在の勤務先では一都三県の割合が高い（表 8-6）。さらに、勤務先規模では従業員 1,001 人以上又は 1,000 人以下（表 8-7）の割合が高い。

転職経験では、2 回又は 3 回以上の割合が高い（表 8-8）。

表9. 転職・起業意向による平均値の差異

		度数	平均値	標準偏差	最小値	最大値
Q15 就職先満足度	転職・起業を希望する	573	3.24	1.288	1	5
	転職・起業を希望しない	847	3.55	1.315	1	5
	合計	1,420	3.42	1.313	1	5
就職_仕事_経営・雇用の安定	転職・起業を希望する	573	13.92	3.678	4	20
	転職・起業を希望しない	847	14.45	3.748	4	20
	合計	1,420	14.24	3.727	4	20
就職_生活_生活の利便性	転職・起業を希望する	573	10.98	3.989	4	20
	転職・起業を希望しない	847	10.13	4.066	4	20
	合計	1,420	10.47	4.055	4	20
就職_個人_実家での役割	転職・起業を希望する	573	7.29	3.207	3	15
	転職・起業を希望しない	847	7.75	3.585	3	15
	合計	1,420	7.56	3.444	3	15
Q20 勤務先満足度	転職・起業を希望する	573	3.34	1.217	1	5
	転職・起業を希望しない	847	3.69	1.166	1	5
	合計	1,420	3.55	1.199	1	5
現在_仕事_経営・雇用の安定	転職・起業を希望する	573	16.85	4.911	5	25
	転職・起業を希望しない	847	17.85	4.787	5	25
	合計	1,420	17.45	4.861	5	25
現在_仕事_WLB	転職・起業を希望する	573	12.97	3.537	4	20
	転職・起業を希望しない	847	13.35	3.665	4	20
	合計	1,420	13.20	3.617	4	20
現在_仕事_経営者・理念の魅力	転職・起業を希望する	573	5.94	2.284	2	10
	転職・起業を希望しない	847	6.24	2.170	2	10
	合計	1,420	6.12	2.221	2	10
Q22 居住地満足度	転職・起業を希望する	573	3.46	1.213	1	5
	転職・起業を希望しない	847	3.79	1.196	1	5
	合計	1,420	3.66	1.214	1	5
現在_生活_自治体の充実した支援	転職・起業を希望する	573	8.13	2.191	3	15
	転職・起業を希望しない	847	8.35	1.936	3	15
	合計	1,420	8.26	2.045	3	15
現在_個人_実家での役割	転職・起業を希望する	573	5.58	2.502	2	10
	転職・起業を希望しない	847	5.83	2.798	2	10
	合計	1,420	5.73	2.684	2	10

【表9のポイント】

将来宮城県内での転職や起業を希望する人は、就職先満足度が低いとともに、現在の勤務先に対する満足度が低い。これは、経営・雇用の安定、WLB、経営者・理念の魅力が低いことと関連していると考えられる。また、居住地満足度、自治体の充実した支援、実家での役割も低い。

こうした仕事や生活に対する不満足な状態が、転職や起業を希望することにつながっていることが示唆される。

表10. 転職するとした場合の不安や課題

	度数	平均値	標準偏差
Q28S2 希望する業種や職種があるか。	573	4.09	1.012
Q28S3 希望する賃金(毎月の給与、賞与など)が得られるか。	573	4.01	1.052
Q28S4 雇用が安定しているか。	573	3.94	1.026
Q28S8 職場の人間関係が良いか。	573	3.90	0.961
Q28S6 休日や休暇がきちんと取得できるか。	573	3.84	1.021
Q29S2 鉄道、地下鉄、バスなどの交通が便利か。	573	3.81	0.991
Q28S1 企業や団体に関する情報が十分に得られるか。	573	3.76	1.043
Q29S1 買い物をするのが便利か。	573	3.74	1.001
Q28S7 福利厚生がどの程度充実しているか。	573	3.72	0.999
Q29S3 医療機関や健康増進のための施設が充実しているか。	573	3.67	1.022
Q28S9 転居を伴う転勤がどの程度あるか。	573	3.64	1.144
Q29S6 地震、津波、台風などの自然災害が少ないか。	573	3.63	1.117
Q28S5 自宅から職場までの通勤がしやすいか。	573	3.58	1.069
Q29S7 電気、ガス、水道などの料金が安い。	573	3.36	0.968
Q29S9 自治体に納める税金が安い。	573	3.31	0.989
Q28S10 管理職への昇進や上位等級への昇格が望めるか。	573	3.27	1.165
Q29S4 文化、芸術、音楽、スポーツなどの施設やイベントが充実しているか。	573	3.25	1.107
Q29S5 海、山、川などの自然環境が豊かであるか。	573	3.18	1.148
Q29S8 自治体の子育て支援策が充実しているか。	573	3.17	1.124
Q29S10 近隣の住民との交流があるか。	573	2.98	1.055

【表 10 のポイント】

転職をするとした場合の不安や課題については、「希望する業種や職種があるか」「希望する賃金が得られるか」「雇用が安定しているか」など、求人や勤務先に関する要因が上位 5 項目を占めている。

同時に、6～10 位のうち 3 項目は「鉄道、地下鉄、バスなどの交通が便利か」など、生活の利便性に関する要因もランクインしている。

このことから、宮城県内での転職を促進するためには、仕事情報に加えて生活情報も提供していく必要性が示唆される。